

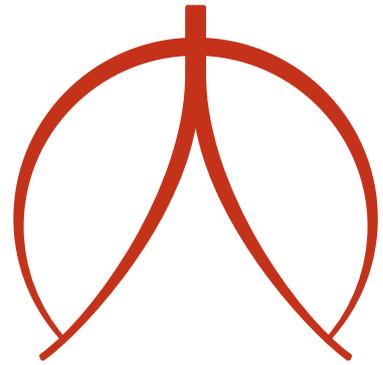
大谷大学広報

編集 大谷大学広報編集委員会

No.158

2004年7月9日

2004 **夏**



冬扇

作家石牟礼道子氏の『苦海浄土』3部作が、このほど完結した。69年の『わが水俣病』、74年『天の魚』、そして今回の『神々の村』。作家は35年の歳月と渾身の力を傾けて水俣の人と病を重層的に描きあげた。

「公害の原点」と称される水俣病。「ヨイヨイ病」「つっこけ病」とも呼ばれた「奇病」の第1号患者の認知は53年末。チッソ水俣工場の排出した有機水銀に起因する

中枢神経疾患であった。朝鮮戦争の特需により奇跡的な復興を果した日本が本格的な高度経済成長に向う時期に先立って出現したこの公害病は、その後の四日市喘息、新潟水俣病、富山イタイイタイ病など数多くの公害禍の先駆けであった。それはまた、引き続き産業化・都市化の波のなかで、単身出稼ぎから挙家離村へ、さらには村ぐるみの廃村へと、日本各地の人々が故郷喪失の時代を迎える先駆けでもあった。

東京のチッソ本社との交渉を終えて帰郷した患者たちにとって、企業城下町水俣にもはや故郷は存在しなかった。

だが彼らばかりではない。政治がその根源においてもはや政治であることをやめたかに見える我々の社会にあって、いまどれほどの人が、真に懐かしい故郷を持ち得るであろうか。わが「水俣」への思いである。

(松村 尚子 教授 社会学)

ふるさと ～私のお国自慢～

「ふるさとは遠きにありて思ふもの」と室生犀星が詠ったように、離れないと、生まれ育った土地の良さは分からないのだろうか？それは単に地理的な遠さのせいだけではなく、故郷には幼い頃からの思い出という時間の魔法がかけられているからだ。

ここで故郷の自慢をする人たちもやがて再び故郷に帰ったり、違う土地で生活するとき思うことだろう。自分にとってのもう一つの故郷とは、京都であり、そしてこの大谷大学である、と。



故郷の香り

崔 惠珍

私の故郷は、韓国第二の港町・釜山です。私は生まれも育ちも釜山で、生粋の釜山人なのですが、両親の故郷は釜山から少し離れたところ、車で約2時間の慶尚南道居昌郡というところ（キョンサンナンド、チジャングン）です。実のところ、私の家はオリジナルの釜山家族ではないのです。

日本に来て3年になりますが、1年に2回、夏と冬の休みには釜山に帰ります。帰省するたびに、ここ京都とはやはり空気が違うと感じます。京都は静かな町で、午後8時以降になると、人の通りが急に減るように思います。それに比べると、釜山は賑やかな町と言えるでしょう。海が近くにあるために、潮の香りと磯の少しなまぐさい匂いがします。釜山にずっといた時はよくわからなかったのですが、この匂いは、釜山を離れてはじめて感じた「故郷の匂い」でした。

この「釜山の匂い」は決していい匂いとは言えないでしょう。し

かし、風に乗って私の鼻先をかすめる時、胸の底まで深く息を吹込んだ時、安堵感とともに、いつも嗅いでいた懐かしい匂いに心が落ち着きます。

千年の都であった京都とは全く違い、釜山という町は、都市計画化によって整備されなかった町なのです。1950年の朝鮮戦争以後、ソウルから避難した人々が釜山に来て、山にまでも無計画に家を建てたので、きれいに整っている町とはいえ、ばらばらとした感じがするのです。それでも、海があるために、爽やかで活気のある雰囲気のある町です。だからよいのだと思います。

その中で、特に私はチャガルチ市場の生き生きとした雰囲気が大好きです。船に乗って、海から眺めるチャガルチ市場の夜景も、とても素晴らしい風景です。海の向こう側の、影島に囲まれている家の灯りはチャガルチの夜景をより輝かせています。このチャガルチ

の夜景は、香港の100万ドルの夜景にも決して負けないと思います。

そして、夜明け。チャガルチ市場の生き生きとしている様子は、自分が生きているという実感を体で感じるほど、賑やかに騒いでいます。韓国最大の水産物市場・チャガルチの入り口に建てられている大きな門の上の看板に、釜山の方言で「オイソ！ボイソ！サイソ！」（関西弁で「来て！見て！買うて！」でしょうか）という言葉が私の目に入ります。本当に面白い言葉です。市場の中に入ると、魚屋のおばさん、おじさんたちが店の前で、看板に書いていたその文句そのまま「オイソ！ボイソ！サイソ！」と声を張り上げています。時々、母と一緒に行って、新鮮なホヤや刺身をその場で、チョコチュジャン（酔入りの唐辛子味噌）につけて食べたこともありますが、本当に甘くて美味しいで

す。海からとれたてのホヤを生でたべると、自然と食欲が出て来、体の底から元気があふれてくるのです。

次の夏休みにもチャガルチ市場に行って新鮮な刺身を食べ、生きているという実感を味わい、そして、また「釜山の匂い」もっか



日本の父と母

竹内 敏晃

最近動物園に行かれたことはあるだろうか。幼い頃は喜んで行ったものだが、年齢を重ねるごとに縁遠い場所を感じるのは私だけだろうか？おそらく多くの人がそう感じていると思う。実際何年も動物園に足を踏み入れたことのない私ではあるが、今回はあえて動物園のとある動物について紹介しようと思う。

私のふるさと一愛知県には東山動物園という大きな動物園がある。東山動物園の人気ものといえば何と言っても「コアラ」。コアラ舎に入るまでに数時間並んだという記憶もある。しかし、今回紹介したいのはコアラではない。その動物は影の人気ものとも言うおうか、知名度はおそらくNo.1で、NHKや民放各局で特番が組まれるほどである。

彼らの名前は重吉と福子。いかにも日本的な名前が親しみが持てる。重吉は戦後間もない昭和27年にアフリカから推定4歳で、一方福子は遅れて昭和29年にドイツから推定4歳で来園した。当時珍しかったためか大人気となり、名古

り感じて来ようと思います。さあ、皆さんも「釜山の匂い」を体で味わってみてはいかがですか？毎年10月にはチャガルチ祭りも行っています。オイソ！釜山へ！

チェ ヘジン

博士後期課程 仏教文化専攻
第2学年

屋の中心街で「福子嬢のお輿入れ」パレードも行われた様だ。そんな大人気夫婦、重吉・福子とは東山動物園のカバの名前である…。

なぜカバが知名度No.1なのか…。それは、彼らの人気も去ることながら、記録ホルダーであった点が高い。まずひとつ目の記録として、国内の最多出産数記録である。夫婦円満だった彼らの間には十九頭もの子供がいる（世界でも二位らしい）。それは何と国内の動物園にいるカバのうち、約60パーセントがこの重吉と福子の子孫にあたり、ひ孫にも子供がいるとか。

そしてもうひとつは、夫婦そろって長寿のカバであったこと。二頭とも人間だと100歳は超えているとか。そんな長寿で夫婦円満なカバ夫婦は「東山動物園のきんさん・ぎんさん」とあだ名がつくほど。彼らの長寿の秘訣は毎朝豆腐を食べていたかららしい。

そんな重吉と福子も、1997年に福子が推定47歳で、当時日本最長寿のカバだった重吉も2001年に推定53歳で亡くなった。現在東山動

CONTENTS

- p. 2 …ふるさと ～私のお国自慢～
- p. 8 …CAMPUS☆TOPICS
- p.16 …事務窓口ホームページ化への取り組み～「学生向け情報提供システム」を利用しよう！～
- p.17 …データベースの利用について
- p.18 …Keiji☆Ban
- p.25 …「セクシュアル・ハラスメント防止のためのガイドライン」と「人権問題相談窓口」について
- p.28 …学問のしおり
- p.29 …2004年度 同窓会支部巡回講演会開催一覧
2004年度 父母兄弟懇談会開催一覧
- p.30 …谷大エリア散策
- p.31 …写真でふりかえる大谷大学今昔
- p.32 …出版物紹介
- p.33 …2004年度 春季大会結果
- p.34 …大谷中学校・高等学校からのお知らせ
九州大谷短期大学のお知らせ
- p.35 …研究室だより／学会だより
- p.36 …2005年度入学試験日程
- p.37 …学生相談室から／学生数
- p.38 …TANIDAI FRONT
- p.40 …財務の概況
- p.44 …SQUARE

表紙のことば

傷だらけのヘルメットがぶつかり合う。グラウンドに土ぼこりが舞う。焼けつくような暑さの中で、もくもくと練習を続けているアメフト部員たち。最初はパスさえおぼつかなかった君達が、フィールドに立てるまでになった。まだまだ苦しいことは続くだろう。でも、“No pain no gain.” 痛みなくして勝利はない。頑張れ！！ 勝利の女神が今度こそ君達にほほ笑みますように！

冬扇

詳しくは「夏炉冬扇」という。夏の炉や冬の扇のように役にたためことの意味に用いる。ここでは役にたつたない次元をこえて一筋の道に生きる精神をあらわす。

物園にいるカバは三代目重吉と二代目福子。彼らも先代に続いて夫婦円満で子供も生まれたとか。

そんな有名夫婦とは裏腹に、彼らの子供たちを含めカバの行く末は実に厳しい。彼らの子供たちも、あるカバは北海道までトラックで運ばれ、雪の中で暮らし、別のあるカバは船に乗せられて中国へ。お客さんの目に触れることもなく、ひっそりと暮らしているカバもいる。昔は人気者だったカバも、今ではコアラやパンダの人気に押

されて邪魔者扱い。子供が生まれても、体重が軽く輸送費がかからない幼いうちに売り飛ばすらしい。そんな悲劇的な子孫たちのことを知ったら重吉と福子は悲しむだろう。

有名で人気のあった重吉・福子がいる一方で、日本にはそんなカバたちもいる。そして、アフリカでは多くのカバたちが幸せに暮らしていることだろう。きっと日本の動物園のカバたちは、そんな幸せなカバたちが遠くアフリカにい

ることを私達に知らせる役目を果たしてくれているのだろう。それはカバに限ったことではなく、すべての動物たちに言えることでもある。

みなさんもたまには幼少の頃を思い出しながら、そんな動物たちを見に近所の動物園に行ってみてはどうだろうか。もしかしたらそこで重吉と福子の子供たちが出迎えてくれるかもしれない。

私自身これを書きながら三代目重吉と二代目福子に会いに行こう



北京の胡同

李 青

私は北京の古い建築物の四合院に生を受けて、清朝時代に建てられた奥ゆかしい平屋でのんびりと育てられた。四合院の中庭には春から秋にかけて、常に季節の花が咲き誇っていた。夏の夜空の下で、ライラックの花から放たれる香りの漂う中庭で納涼したことを今も記憶に留めている。私の小さい頃はコンビニやスーパーマーケットのなかった時代だった。しかし、不便は全く感じられなかった。

四合院の間を走る細く、ときには迷路のような横町が胡同（フートン）である。語源はモンゴル時代に遡るといわれている。とりわけ胡同の名物はといえば、もちろんシヤオチ小吃（軽食）であろう。毎朝、胡同の小吃店では人々の出勤時間に合わせ、ユウチヤウ油条（揚げパン）、お

粥、肉まんなどがすでに店頭に並べられている。蒸籠から立ち上った白い湯気と肉まんの美味しい匂いが行く人々の足を止めてしまう。小吃売りにはさまざまな形がある。屋台をリヤカーの荷台に乗せて、ペダルを漕ぎながら、呼び売りする商人もいれば、一輪車を押しながら各四合院を訪問販売する人もいる。彼らは拍子木をがちかち鳴らしながら大きい声をあげて、自分たちの到来を胡同の住民に知らせるのである。河北の貧しい農村から出稼ぎに上京してきた「糖火烧」（小麦粉に黒砂糖を練り込ませ、発酵させてから、窯などで焼いたもの）売りの叔父さんは、胡同のお馴染みだった。彼が作った「糖火烧」はなかなかの評判で、安くて、美味しい。素朴で勤勉な

彼に祖母がよく熱々のお茶を出してあげていたことを覚えている。ある日、「糖火烧」が売り切れた。泣きべそをかいた私に「糖火烧」売りの叔父さんは翌日に焼きたての「糖火烧」をわざわざ届けてくれた。叔父さんの優しい心遣いと「糖火烧」のさくさくして美味しい味はいつまでも心を和やかにしてくれる。

昨今、都市改造のために胡同にある四合院はどんどん取り壊され、取って代わったのが、近代的なビルディングである。北京の姿もニューヨーク、パリ、東京のような大都会に近づきつつある。四合院保護運動の盛んな今日では、胡同の四合院の風情は依然として多くの人々を魅了している。わがふるさと一北京の魅力はここ胡同

大好き静岡県！！

佐野 志織



私は京都に来て、今まで感じる
ことがなかった静岡県の良いところ
に気付いた気がします。

まずおだやかな気候です。夏は
涼しく、冬は暖かいので、とても
暮らしやすいところだと思います。
また、おだやかな気候のせい
か温かな人が多い気がします。競
争意識が少なく、のんびりとした
人が静岡人には多いです。

そして静岡県と言ったら日本一
の山、富士山です！実家にいた頃
は毎日、飽きるくらいに富士山を
見ていたので富士山の素晴らしさ
に全く気付きませんでした。しか
し今ではとても自慢に思っていま
す。高校生の頃、富士登山をしま
しましたが、登っても登ってもなか
な目的地向たどり着かず、とても
辛かったです。しかし、富士山か
ら眺める景色はすばらしく、大き
な達成感を味わえるので、一度登
ってみる価値はあります。

自然が豊かな静岡県にはたくさ

んの名産物があります。わさび、
いちご、うなぎパイ、中でもお茶
は本当に自慢の名産物です。静岡
の家庭の食卓には常にお茶がある
と言えます。私の実家の周りにも
お茶畑がいっぱいで、新茶の時期
になると近所のお茶屋さんから、
新茶をいただけます。やはりお茶
を飲むと落ち着くし、健康にも良
いので、ぜひ静岡県のお茶を飲ん
でみてほしいです。京都に負けな
いくらい自慢のお茶です。

そして、あまり有名ではないの
ですが、私の地元、富士宮市は焼
きそばの麺が名産物です。2、3
年前から少しずつ有名になりはじ
め、テレビでも何回かとりあげら
れました。東京から、焼きそばの
麺を求めに来る人も多いそうで
す。大学でできた友達に焼きそば
を作ってあげたら、みんなおいし
いと言って食べてくれました。そ
の時はとてもうれしかったです。
焼きそばの麺がもっと有名になる

とうれしいです。

静岡県と言ってよく言われるの
は、マンガの「ちびまるこちゃん」
です。「ちびまるこちゃん」は静
岡県が舞台になっており、とても
ほのほのとした話です。静岡県民
の私から見ても、静岡っぽく、温
かく、おもしろいマンガで、私も
大好きです。大学の友だちに、私
の家族はまるちゃんの一家に似て
いると言われたことがあります。

そして私の出身校はあの水戸黄
門役の里見浩太郎さんの出身校で
もあります。静岡県はサッカーも
有名なので、たくさんの有名人の
出身地とも言えます。

静岡県は田舎ですが、私にとっ
ては、とても落ちつける自慢の故
郷です。静岡県の名産物をぜひぜ
ひ食べてみてほしいです。いろん
な人にもっと静岡県の良さを知っ
てもらえるとうれしいです。

さの しおり

幼児教育科 第2学年



アーカンソー州：豊かな自然・悲しい歴史

Adam Catt

私の故郷は2,000人を超えぬ小
さな田舎の町である。アメリカ合
衆国の有名な山脈といえば、東に
アパラチア山脈があり、西にはロ
ッキー山脈がある。中部にも多く

の山が点在している。オザーク山
脈（ポテトチップスじゃねえ！）
はその一つであって、アーカンソ
ー州の北西部からミズーリ州の南

部までその山脈が連なっている。
ロッキー山脈と比べて、オザーク
山脈は非常に古くて、何億年の風
や雨によって山の形が段々丸くな

った。クリントン元大統領もアーカンソーの出身者で、彼の生まれの町は温泉でよく知られている。

私の実家がちょうどアーカンソー州の北西部にあって、子供の時分からその自然に恵まれていた。家の近くには、アメリカ最初の国立公園があって、その公園の奥のほうで、ハイキングやキャンプを楽しむことができる。高校生の時から（車の免許を持った時から）友達とよく山でハイキングをした。一番好きな場所はある高い滝だった。その滝壺で泳いだり、釣りをしたり、食事をキャンプ用のコンロで作ったり、何回も朝から

晩まで過ごした。

オザーク山脈の地方の岩はほとんど石灰岩でできている。石灰岩はわりとやわらかいから、洞窟がしやすい。先住民族がその洞窟の中で長年に亘って生活を送っていたので、ハイキングをしたときに矢じりや焼き物の破片を何回も見つけた。中学生のころから、周りの洞窟の地図を作ることに挑んだ。週末に電灯を持って洞窟で冒険をした。洞窟の中は本当に迷路のようなもので、ロープを使って洞窟の中を登ったり降りたり泥だらけになった。今考えると死ななかつたことは確かに奇跡である！

周知の様に、19世紀にアメリカの南北戦争があった。この頃の戦術は本当に素朴なもので、大砲や鉄砲やナイフや手を使って敵を殺す方法しかなかった。戦争前には何の敵意も持ってなかった兄弟が戦争に巻き込まれて互いに殺すようになる悲劇さえあって、とにかく南北戦争は誠に悲しい戦いであった。私の町には南北戦争の戦場跡もある。1862年にアーカンソー州の最後の激しい戦いがあり、2,700人も亡くなった。今その戦場は公園となっていて、5月になると慎ましい祭りが行われている。

富山売薬考？

伊豆 佳恵



富山県と聞いて、一般的に浮かぶイメージとは何だろうか。今でも、「売薬＝富山」というイメージを持っている人も多いのではないかと思う。先日、富山から京都へ戻る電車の中で、福井出身だという高齢の女性と隣り合うということがあった。彼女は私が富山の出身だと知ると、懐かしそうに幼い頃、自分の家に「売薬さん」が来てくれていた頃の話をしてくれた。

富山は、ちょっとした陸の孤島である。北陸地方の県として、今一つ知名度は低い。立山連峰と日本海に囲まれた自然豊かな県であり、世界遺産に登録された五箇山の合掌造りや魚津の蟹気楼など個性的な面も多く、地理的に見れば富山は石川と新潟の間、北陸地方

のほぼ中心にあるわけだが、「北陸三県」と言われた時、福井、石川、新潟のことだと誤解される。そのせいか、富山まで各種イベントがなかなか来なかったりする。そして、そんな影の薄さを県民はのほほんと肯定している。歴史の上から見ても、日本史上北陸が一番注目されていたであろう戦国時代では、越中は加賀百万石や越後の上杉謙信・景勝などに押され気味でいまいち目立たない。

そんな富山が全国的に注目されるようになるのは、それからさらに下って江戸時代に入ってからである。そこで、富山は全国でも珍しい産業を発展させた。「売薬」である。富山の歴史を語る上で、「売薬」は重要なキーワードだ。

「富山の売薬」は、越中富山藩

二代目藩主前田正甫の頃より始められたという、富山の「配置家庭薬業」による。前田公が、江戸城内での会議の折、具合が悪くなった某藩主に「反魂丹」という公の常備薬を服用させたところ、たちどころに良くなったというエピソードがきっかけで、富山は製薬、売薬の産業を興すこととなった。北陸道が開通され、富山藩が飛騨街道の起点として行商人などで賑わうようになった辺りから、「先用後利（薬で先に病を直してもらい、後で代金を受け取る）」という独自の商法で、薬の入った柳行李を担ぎ、四角い紙風船をお土産に持った「売薬さん」が全国を回るようになった。明治期に入って、富山の薬問屋も他の問屋と共同で製薬会社を興すなど、様々に体制

は変わったが、製菓、売菓は、今もなお富山の産業として栄え続けている。

「売菓さん」は、今では富山の

県内のほんの一部の地域でたまに見られる程度になってしまった。柳行李ではなく車でプラスチック

製の菓箱を携えてやって来るが、お土産の紙風船は変わらない。

いず よしえ

“根っこ”

東館 紹見



私の故郷は、東北の太平洋岸、本州の最東端にあたる岩手県の宮古という港町である。

リアス式海岸で知られる起伏に富んだ海岸線は、澄んだ海を懐深く抱いて、名勝“浄土が浜”をはじめ、厳しさを湛えた美しい自然をそのままに残してくれている。二百カイリ漁業規制の影響もあってやや静かになってはいるものの、古くから開けた天然の良港には元気のよい浜言葉が飛び交い、四季折々の海の幸は粒ぞろい。春はワカメ、メカブ、夏はウニ、ホヤ、秋はサンマ、冬はサケ、毛ガニなどなど。どれも、厳しくそして澄んだ三陸の海に生まれ、味が濃くてとても美味しい。

・・・と、「お国自慢」を数え出すと、皆さんと同様キリがないのであるが、私にとって、そうした故郷の一つ一つの風物は、やはりそこで共に生きた人たちの姿と切り離しては考えられない。

わが家の家族、その家族ゲンカの声まですっかり知られているわが町内の人々はもちろん、様々な場で共に歩んだ友、恩師、そして、海が伝えた信仰を大切に受けつぎ続けているお同行の人々……。私は宮古という地で生まれ育つ中でそれらの人々と出会い、様々なことを教えられ、考え、語り、そしてその結果として京都にやってきて、今も京都に居る。宮古の人々は、そうした私の“根っこ”の部分を知っている。もちろん、京都に出てきてからの様々な出会いも、私にとってかけがえのないものだ。しかし、それらの出発点となった“根っこ”を育て、また思い出させてもくれる故郷は、やはり特別な存在である。たとえ忘れようとしたって忘れられるものではない。私の現在を真っ直ぐに受け止めてくれる存在の厳しさ、あたたかさ。

「お～紹見。何時帰って来たの

や～？」

「ホヤ、美味えが。食べ。」

「何時まで居んのや～？」

私の卒業した中学校は、3年前、統廃合によって廃校になってしまった。しかし、幸いなことに熱心な幹事姉姉によって同窓会が度々開かれる。卒業以来25年が経ち、お互い少しずつ歳を重ね、中にはもう会うことのできなくなった友も数名に及ぶが、いつも話し始めると、そうした時と場所、状況の隔たりをこえて、“根っこ”を手繰りつつ、友と対している私がいる。

「そんで、お前、なに～してんのや～？」

いつもと同じ、何気ない問いかけだが、私にはいつも鋭く、新しい。

故郷宮古は、いまだ25年前に旅立った時のまま、私に語り、問い続けてくる。

ひがしだて しょうけん

小川一乗先生、河内昭圓先生に名誉教授の称号おくられる

大谷大学名誉教授称号授与規程に基づき、本学の教育上また学術上、特に功績のあった先生におくられる名誉教授の称号が、小川一乗（仏教学）、河内昭圓（中国文学）の両先生におくられました。授与式は河内先生が4月1日、小川先生が5月27日に学長室において行われました。（総務課）



授与式の様子：河内昭圓名誉教授



授与式の様子：小川一乗名誉教授

「若葉祭」開催される！



若葉祭の様子

4月9日(金)雲ひとつない真っ青な空の下、新入生を歓迎する「若葉祭」が開催されました。当日はキャンパスのどこにいても、新入生を勧誘する先輩たちの元気のいい声や、賑やかな音楽が聞こえました。クラブによっては自分たちの活動をパソコンを使って紹介したり、楽器をまずは触ってもらい音を出してもらったりとそれぞれが創意工夫を凝らして勧誘していました。特設ステージでは先輩の

歌や音楽に聴き入る新入生が体を揺らしてリズムをとるなど、早くも大学の雰囲気に馴染んでいる様子でした。早食い競争などのイベントも行われており、放送局の司会のもと大学全体が活気に溢れる一日でした。新入生の一人は「一人暮らしを始めて不安だらけですが、気付けば何でも話せてしまった先輩方に出会えてよかったです！」と話してくれました。

(企画室)

仏教学会新入会員歓迎講演会開催

去る4月23日(金)午前10時30分より、響流館メディアホールにおい



小谷信千代教授

て新入生歓迎会として、仏教学会会長である小谷信千代教授の「インドのおどろき」と題する講演会を開催しました。

この講演会は、「仏教学演習Ⅰ」の一環として行われたもので、これから仏教学というものを学んでいく新入生の皆さんに、仏教学とはどういうものなのかを感じ取ってもらおうという意図から毎年開催されているものです。

小谷教授は、「仏教を学ぶため

には人間生活の現実を直視することが大切」と強調されました。その例として、作家・堀田善衛氏が『方丈記私記』の中で当時現実を直視した人物として鴨長明と親鸞を高く評価していることを紹介され、また、小谷教授ご自身がインドで体験されたことをユーモアを交えてお話しして下さいました。

なお、本講演の内容は、『仏教学セミナー』に掲載される予定です。 罫

短期大学部文化学科 新入生歓迎講演会開催

5月12日(水)午後4時10分より本学2号館2301教室にて、文化学科新入生歓迎講演会が開催されました。講師には本学非常勤講師の荒井とみよ氏をお迎えし、「『私』という樹にどんな花が咲くのかー日本語表現を学ぶことー」という講題でご講演頂きました。

荒井講師は、まどみちお氏の「もう すんだとすれば」という詩を手掛かりに、「学校って何だろう」「友人について」「自分と向き合

う」「アンチ『見ざる聞かざる言わざる』」「就職活動ウォッチング」「二百万円の買物」という事柄について講演され、新入生が学生生活を送る上で、自己表現が大切であることを示されました。

講演会終了後、出席した学生に講演についてのアンケートを実施したところ、就職に対する関心の高さや、学費を無駄にしたくないという気持ちの窺える結果が出ました。後期から始まる、文化学科必修科目「日本語表現」への導入を

兼ねた講演会でしたが、それに留まらず、学生諸氏には自分自身とその周辺を考えてみる機会となったようです。



荒井とみよ氏

史学科新入生歓迎講演会開催

5月20日(木)午前9時30分より、1号館1214教室において、史学科新入生歓迎講演会を開催しました。史学科では、毎年5月に第1



京楽真帆子氏

学年を対象に、歴史学のおもしろさなど、学科への入門となるよう講演会を開いています。講師には、新進気鋭の方を中心に、隔年で、日本史と東洋史の研究者をお招きしています。

本年は、日本古代史の専攻で、都市論や女性史をご専門とされる、滋賀県立大学助教授の京楽真帆子氏に「『らしさ』の歴史学」と題して、ジェンダー（社会的性差）の問題をお話し頂きました。現在、「男らしさ」「女らしさ」と

される事柄が、実は歴史的には決して普遍的なものではなく、時代によって異なることを、服装や習慣などの具体例によって話され、これら「らしさ」がいかに社会的、文化的に形成された産物であるかを指摘されました。

聴講した学生諸君は、日頃当たり前のように感じていることも十分に吟味し、その本質を見抜く必要があることを強く感じたものと思われ、今後の歴史学研究の取り組みに重要な示唆を与えて頂きま

大谷学会春季公開講演会開催

5月25日(火)午後1時より、講堂において、大谷学会春季公開講演会が開催されました。毎年、学内と学外からそれぞれ1名の先生に講演をしていただいています。

今年の講師・講題は次の通りでした。

大谷大学教授 神戸和磨氏「樹心仏地ー値偶と自覚ー」

城西国際大学大学院教授 脇田晴子氏「文化の政治性ー天皇の中世文化をめぐってー」

真宗学科教授の神戸先生は『教行信証』に見える「心を弘誓の仏地に樹つ」という言葉に注目し、

親鸞における信心の生起の構造について、豊富な資料を提示しつつ、詳しく説明していただきました。

また、日本中世史や日本女性史を専攻されている脇田先生は、今日まで天皇制が存続している理由を取り上げ、それは中世において

武家勢力が武力・政治・経済などの権力を掌握したのに対し、天皇や公卿は文化・宗教の権威を死守した点にあると、能・連歌や蓮如の政策を例に挙げてお話しいただきました。

(大谷学会)



神戸和磨教授



脇田晴子氏

紫明講座「熊野信仰の諸相」フィールドワークを実施

去る5月22日(土)、23日(日)に一泊二日で、紫明講座「熊野信仰の諸相—紀伊山地の自然と日本人の信仰—」のフィールドワークとして熊野三山を訪ねました。

今年の7月にユネスコの世界遺産に登録される予定の熊野三山とその参詣道である熊野古道を中心に、熊野研究の第一人者である山

本殖生氏、根井浄氏の案内で、17名の受講生が山の熊野、川の熊野、海の熊野を巡りました。

初日は晴れた深緑の熊野を、二日目には雨天時の刻々と景観が変化する大自然の中の熊野を体験することが出来ました。

受講生の一人、吹田雄二郎さんのフィールドワーク体験記を掲載



フィールドワークの様子



吹田雄二郎さん

社会人に門戸を開放された大谷大学の生涯学習講座を昨年の春、初めて受講させていただきました。講師の先生方も大変熱心で、懇切丁寧な講義されますので、内容もある程度は理解することが出来ました。

今回は、現地でのフィールドワークという事で、一泊二日の学習に参加させていただきました。「何も知らずに見物するもいいが、知っていて見物すれば又—その興があるものです。あなたも熊野三山の信仰の由来ぐらいは知っておいたほうがいい」とは三島由紀夫の小説『三熊野詣』の文中、主人公の藤宮先生が常子という女性に語る言葉です。私の本講座受講の動機もそこにあります。

この言葉のとおり、事前に豊島先生の講義を受講し、根井浄氏、山本殖生氏の先達に案内していただくと「成る程この場所のことだったのか、この意味のことだったのか」とよく領けました。

中辺路で最初に立ち寄りました「滝尻王子」では、いよいよこれから遠い道先にある熊野本宮へと目指

して身も心も新たに、この熊野の入口から出発していった中世や近世の真剣な熊野詣の人々の心に思いをいたすことができました。

また、大型バスの通行は神業を要するような山坂道を「発心門王子」へと案内していただきました。藤原定家と尼の南無房とのエピソードを、山本氏は実にユーモアたっぷりに紀州弁で話されるので尚一層に興がつのりました。この二王子参詣は予定外の行程だっただけに、講師のおふた方のご配慮には頭が下がりました。

本宮大社参詣の後、熊野川をバスの車窓に眺めながらの山本氏による「川の熊野」の説明も実に楽しいものでした。対岸の急峻な山腹からは、いくつもの滝が緑の樹林の中に遠望することができ、熊野ならではの景観でした。

当日の宿は由緒ある宿坊の尊勝院でした。30名ばかりの西国巡礼の人達と同宿で、翌朝五時から青岸渡寺本堂でのお勤めには、私達も一緒に掌を合せました。高木貫主様の法話があり心に沁み込みました。沛然と宿坊の屋根をたたいた前夜的那智名物の大雨も朝方には程よくあがり、目にした大滝は神秘そのものの姿で、私の眼前に隠れ又すぐに顕現する景色は実に幻想的でもありました。滝宝殿で「那智参詣曼荼羅」の実物を拝見することができましたのは大きな感激でした。

次に到着しました渡海上人ゆかりの寺「補陀洛山寺」では、特別に重要文化財の十一面千手観音像を開帳していただき、その御顔を拝したと

き、私の熊野フィールドワークの感激はここに極まりました。那智大社の参詣道「大門坂」とイザナミ尊を葬ったと伝承される「花の窟」にも深い感銘を受けることができました。

大谷大学の教授であられた五来重先生のご著書『熊野詣』のむすびの中で、「ただわれわれは熊野三山の歴史と遺物を虚心にみつめ熊野三山の一木一石一径をあじわうよりほかはない」と述べられていますとおり、熊野の地が記紀神話と仏教説話と修験の思想とで二重三重に習合されており、全く幻想と謎とロマンに満ちた世界であるだけに、先生のその言葉が私の心にも直に響いてくるのでした。

まさしく聖地熊野は日本人の思想の生命の芽を育む母の胎内のような大きな大きな宇宙であるといっても決して大袈裟な表現ではなからうと思います。

この度の企画は熊野の自然の豊かさと地元の人々の熊野の神々に対する熱い念いを、参加者全員が受けとめる機縁となったと思います。

近々にユネスコにおいて、高野山・吉野大峯・熊野が「紀伊山地の霊場と参詣道」として世界遺産登録の可否決定がなされると聞いています。いずれにしても私達日本人の先人達が宿してきた「自然崇拜」の心だけはこれからも決して見失ってはならないと思う機会となりました。

(教育研究支援課)

パーリ学仏教文化学会第18回学術大会開催

パーリ学仏教文化学会第18回学術大会が、大谷大学を会場として、5月29日(土)に開催されました。

パーリ学仏教文化学会は、パーリ文化研究会を母体として発足しました。パーリ文化研究会は、1977(昭和52)年4月に第1回の研究集会を開催し、13回にわたって研究集会を重ね、そして1986(昭和61)年に従来のパーリ文化研究会を発展的に解消して、新たにパーリ学仏教文化学会が設立されました。1987(昭和62)年に第1回学術大会が開催されて以来、今大会で18回目となりました。

午前9時20分から愛知学院大学名誉教授前田恵學會長の導師で三帰依文の唱和が行われ、つづいて研究発表が始まり、午後5時30分まで、海外研究者を含む12名の発表者が持ち時間30分で研究発表を行いました。研究発表は、パーリ語仏教文献に対する考察を中心に、スリランカにおける仏教復興運動についてやミャンマーやバングラディッシュにおける上座仏教の現状などについての発表もあり、それぞれについて活発な質疑応答がありました。当日の大会参加者は70名を超え、盛況の内に閉会いた

しました。

また、大谷大学図書館の協力により、大谷大学博物館において、パーリ学に関わる出版物や写本を含む特別展覧も開催されました。

(清水 洋平)



会場の様子

第49回国際東方学者会議開催

財団法人東方学会主催の第49回国際東方学者会議(ICES)の関西部会が、5月29日(土)午前10時よ



会議の様子

り、博綜館5階第一会議室を会場にして開催されました。開会の辞ののち、中国の沈衛榮教授が「西藏文文献中的和尚摩訶衍及其教法」、京都大学の平田昌司教授が「胡藍の獄・靖難の変と『洪武正韻』」と題して講演されました。

交歓昼食会は隣の第二会議室で開かれ、木村宣彰学長が主催校を代表して歓迎の挨拶をしました。

関西部会の午後の参観行事は、例年では会場を移動して、京洛の観光をかねて寺社の宝物を拝観し

てきましたが、今回は本学博物館(響流館1階)で始まったばかりの企画展「仏教の歴史とアジアの文化I」を参観しました。

昼食会の席で、礪波護教授が展観の文物について、寺本婉雅将来の北京版西藏大藏経や、大谷瑩誠旧蔵の中国古印、神田喜一郎旧蔵の数々の名品の紹介をしました。そして神田コレクションを寄贈された神田信夫前東方学会会長が、昨年末に逝去されたことに対し、哀悼の意が添えられました。

宗祖誕生会

6月1日(火)午前10時から、講堂において、宗祖親鸞聖人御誕生会が厳修されました。真宗大谷派では、4月1日に行われていますが、大学では春休み中を避け、毎年6月1日に行っています。

今年度は、勤行に引き続き、筑波大学大学院教授 今井雅晴氏より「越後から関東へー親鸞聖人42歳の決断ー」と題して記念講演をいただきました。親鸞聖人は42歳の時、流罪の地、越後より家族と

ともに関東へ向かったと伝えられています。そこに一体どのような目的があったのか、またなぜ関東に向かったのかは、様々な見解があります。先生は、最新の研究成果を踏まえて、その決断の背景に当時の社会的状況や家族の存在があることをお話くださいました。現在ある史料を、当時の常識を踏まえて読むことの大切さを語り、また家族の視点から親鸞聖人の行動を明らかにしようとする先

生のお話は、大谷大学で学ぶ私たちにとって、大きな示唆を与えるものでした。

(総務課)



今井雅晴氏

国際文化学科講演会開催

6月1日(火)午後4時10分より午後5時40分まで1214教室において主として新入生を対象に講演会を



古川哲史氏

開催いたしました。本年度の講演会の講師は元オハイオ大学講師古川哲史先生にお願いしました。先生はアフリカやアフリカ系アメリカ人についてフィールドワークを中心として研究されています。講演には、国際文化学科の新入生に、異文化と接する事はどういう事か考えてもらいたいという願いが込められていました。

講演題目は「異文化との出会いで考えたことーアフリカやアメリカでの体験を中心に」ということ

でした。最初に先生のアフリカでの経験、特にケニア、タンザニアおよびエチオピアでの体験を通して日本人とアフリカの関わりについてのお話があり、引き続いてアメリカでの大学教員として、また刑務所での教員の経験を通して、異なった文化的背景を持つ人々との出会いについてのお話がありました。学生諸君にとってはこれまで遠い存在でしかなかったアフリカが身近なものに感じられたのではないかと思います。

“人権問題を共に考えよう” 全学学習会開催

去る6月9日(水)午後4時10分より、本学講堂において、2004年度第1回“人権問題を共に考えよう”全学学習会が開催されました。今回は講師として西成労働福祉センターの住田一郎さん(本学卒業生)をお迎えし、「部落問題の今ー両側からこえるー」という講題でご講演いただきました。

住田さんはまず、2002年3月末に同和対策事業特別措置法(特措法)が終結し、部落問題は一段落したかに見えていること、しかし

特措法終結後もさまざまな形で部落問題は残っていること、などについてご自身の活動経験を交えながらわかりやすく説明されました。さらに、部落内外からお互いに手を差し伸べあい、対話することによって本当の意味での解決へつながる、今こそもっと部落問題についてオープンに話し合うことが必要ではないか、と熱っぽく話されました。

被差別部落に生まれた自らの立場を明らかにして、被差別者の側

の現状や課題をも投げかけられた講演に、後輩である学生諸君はじめ参加者のすべてが熱心に耳を傾けていました。

被差別者側の「弱さ」をも晒け出すような問題の提起が、私たち



住田一郎氏

東北師範大学が本学を表敬訪問

6月10日(木)、中国の学术交流協定校のひとつである東北師範大学(吉林省長春)の史寧中学長、楊忠国際交流担当副学長、趙俊峰国際交流部長、安載鶴副部長の4名の先生方が木村学長を表敬訪問さ



れました。特に楊忠副学長と趙俊峰学長は、今回が初めての本学訪問であり、当日は東北師範大学からの交換留学生として本学で学んでおられる武 さんの出迎えて、響流館の総合研究室・図書館・博物館などを熱心に見学されました。

1995年の学术交流協定締結以来、本学と東北師範大学との学术交流実績は数多く、深い信頼関係にあります。研究者の交流では、東北師範大学教員の本学での講演

会開催や授業担当、文部科学省科学研究費の採択をうけた共同研究の実施など、学生の交流では、東北師範大学大学院生の受入れや本学学生の東北師範大学への留学、東北師範大学での国際交流科目(短期中国語研修)の実施などがあり、今年5月には東北師範大学大学院で藤島建樹本学名誉教授が集中講義も行っておられます。

木村学長との懇談の席では、今後の新たな学术交流について和やかなうちにも熱心な意見交換が行われ、今後ますます交流を推

硬式野球部 京滋リーグ1部復帰!!

硬式野球部は昨年の秋季リーグ戦において1部最下位となり、入れ替え戦の末2部リーグ降格となっていました。しかし、本年度春



硬式野球部

季リーグ戦において11勝1敗の成績で2部優勝を果たし、1部リーグ最下位の京都創成大学と入れ替え戦を行いました。入れ替え戦は5月29日(土)から始まり、1勝1敗で迎えた31日(月)の第3戦に結果は持ち越されました。試合は京都創成大学が初回に2点を先制しましたが、大谷大学は3回に同点とし、4回には2死2塁から第4学年谷君が中前打を放って勝ち越し、この回3点を加えて試合の主導権を

握りました。そして、第3学年阿久根投手が9安打を許すものの完投し、7-4で京都創成大学に勝って2勝目を挙げ、最短時間で1部リーグ復帰を勝ち取りました。昨年の2部リーグ降格後、雪辱を誓っての猛練習が実を結んだもので、主将の第4学年中川君は「新チームに引き継ぐ前に1部に復帰することができ、4年生としての責任が果たせたと思います。秋季リーグ戦では、新幹部のもと1部リーグでの優勝を果たしてほしい

「同窓会うどん」販売開始

去る7月1日より学内食堂において「同窓会うどん」の販売が始まりました。

「同窓会うどん」は、従来のかけうどん・そばの名称を変更したのですが、「大谷大学同窓会」より補助金をいただき、1食60円で提供されます。同窓会うどんに、きつね・天ぷらなどをトッピングすることで、従来のきつねうどん・天ぷらうどんなどとして召し

上がることができます。

「大谷大学同窓会」は、本学卒業生により組織されていますが、昨年、同窓会活動企画推進委員会が設置され、今後の同窓会活動に関するさまざまな課題が検討されています。今回の同窓会うどんは、この委員会において、同窓会として学生の皆様に対し何か支援ができないかという議論の中から提案

され実現したものです。

また、学内食堂では「日替りランチ」「ハッピーランチ」「モーニングセット」「ディナーセット」が販売されています。これらについては、学生の皆様の父母兄弟等が会員となり組織されている「大谷大学教育後援会」より補助が行われ、安価で提供されています。

(校友センター)

オープンキャンパス開催される

去る6月26日(土)、今年度最初のオープンキャンパスが開催され、全国各地から合計246名の参加がありました。開催にあたっては、クラブの有志、個人参加など約40名の学生ボランティアスタッフの協力を得ました。受付、フリートークコーナー、学内案内などで、受験生からのさまざまな質問に答えたり、学生生活について話をしたりするなど、在学生の視点から本学の雰囲気伝えることができました。

1号館の教室では、文学部8学

科、短期大学部3学科の教員による学科相談コーナーや、入試・奨学金・下宿・クラブ・就職などの相談コーナーを設置しました。また、模擬授業も4講座が開講されました。

講堂で行われた大学説明会では、大学の概要や入試に関する留意点などの説明が行われました。キャンパス見学ツアー、大学紹介ビデオの上映、博物館の観覧などにも多くの高校生が参加しました。

参加者から回収されたアンケー

トでは、「大谷大学のことがよくわかりました。」「学生の皆さんに親切にしてもらいました。」「行きたいという気持ちが強くなりました。」「いろいろな相談ができて、頑張るぞ!!という気になりました。」「などの声が寄せられました。

今年度のオープンキャンパスは、8月1日(日)、8月2日(月)、9月23日(祝)にも開催を予定しています。今後も多くの高校生、ご父母の方々の参加が期待されます。

(入学センター)

ドイツマールブルク大学学術交流会報告

『仏教とキリスト教の対話—浄土真宗と福音主義神学Ⅲ』が発刊されました。これは同シリーズのⅠ・Ⅱと合わせて、大谷大学真宗総合研究所・国際仏教研究班と、ドイツ、マールブルク・フィリップス大学神学部との研究交流の報告集です。本学の親鸞思想を中心とした仏教研究とマールブルク大学のキリスト教プロテスタント神学との5年ほどにわたる共同研究の全記録が、この3冊に収められています。



仏教とキリスト教との対話
—浄土真宗と福音主義神学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ

マールブルク大学は、日本にはあまり馴染みがない大学かも知れませんが、「非神話化」を唱えた神学者ルードルフ・ブルトマンの名によって知られるプロテスタント神学の牙城であり、またルードルフ・オットーの伝統を継承する宗教学研究の拠点です。

第一回目の交流は、1999年の5月にドイツで行われました。『仏教とキリスト教の対話』の第一冊目が、その記録になります。大谷大学側にとってはキリスト者との初めての本格的な研究交流です。一年以上も前から、かなり周到に準備が行われました。

ドイツで日本仏教と言えば、ほとんどが「禅」をイメージするようです。そのような国に親鸞の浄土教思想をどのように紹介したらいいのか、問題は山積みでした。言葉の違いはもちろん、そもそも

キリスト者と仏教者という異教徒同士が友好的に対話を保つことができるのか。多くの不安を抱えながら手探りで準備でした。

真宗とプロテスタント神学は、この直接の対面から遡ることおよそ500年前、間接的にはありませんがすでに出会いを果たしています。16世紀後期に世界中で盛んに宣教活動を行っていたイエズス会士たちの日本に関する報告書に、当時の真宗教団について次のような記録があります。

「この宗派はルーテルの宗派に似て、救われるためには阿弥陀の名を称えるだけでよい。」

「この宗派」とは真宗教団、「ルーテルの宗派」とは今回の対話の相手であるプロテスタント教会者たちです。カトリック教会に属するイエズス会士たちからすれば、真宗教団とプロテスタント教会

は、よく似た信仰を持つ自分たちの敵としてあったのです。その両者が500年の時を経て今度は直接に交流を持つわけですから、いったい何が似ていて、どうして共通してカトリックの敵であるのか、興味はつきません。

準備の流れで、私も思いがけずドイツのシンポジウムで発表することになりました。はじめてのドイツ。特にマールブルクは、お伽話にでてくるような街でした。明るい日差しに木組みの家々。映画やCMでしか見たことのない石畳の道路。ぴかぴかに磨き上げられたウィンドウ越しに見える、色とりどりのおもちゃや本やハム。昼間っから道端のあちこちに丸いテーブルが並び、大きなグラスにたっぷり注がれたビールを旨そうに口に運ぶ人々。ヨーロッパ映画の一画面にまぎれ込んだようで、日本からやってきた小さな真宗学者は、はじめは何となく落ち着きませんでした。

そのような街の様子とは対照的に、会場となる神学部は誰をも寄せつけない威厳あふれる石造りの建物でした。会場内に入ると、大きな壁画に囲まれた広大な空間が広がり、日本側一行は思わず息を吞でしまいました。もしこれが異教徒間による戦いであつたら、試合以前に「勝負あつた!」といったところでしょうか。



マールブルクの街

第1回目のシンポジウムは、「信仰と念仏」「神と阿弥陀」「恩寵と他力」など、お互いの信仰の基本となる概念を確認する作業からはじまりました。おかげで、深い対論にまでは至りませんでした。しかしマールブルク市民をも巻き込んだこの会は、大きな成果をもたらすことになりました。それは、互いの信仰と研究に対する尊敬と信頼が生まれたことです。再び交流を持つことを双方が堅く約束し、ドイツの地を離れました。

2000年10月と2001年3月、大谷大学でその約束が果たされました。『仏教とキリスト教の対話Ⅱ』が、その時の記録になります。マールブルク大学から実践神学者、組織神学者、宗教学者を招いての共同研究会です。「宗教間対話」「信仰」「実践」の問題など、個別のテーマで突っ込んだ議論がなされました。

はじめて日本を訪れたドイツ側参加者が、日本料理の美しさに驚きの表情で写真を撮り、なれない箸で食事をする様子も印象的でした。ドイツ料理は、山盛りのじゃがいも、てんこ盛りのキャベツやアスパラ、草履もどきのカツレツ・・・、ひょっとしてスコップで盛りつけたのでは(?)といった調子です。味はともかく、箸で盛りつける日本の料理文化とは明らかに違います。

そして2003年5月、再びドイツの地で研究会がもたれました。このたび発刊された『仏教とキリスト教の対話Ⅲ』が、その記録です。私にとってはもっとも印象深い、有意義な会となりました。挨拶や謝辞もそこそこに、十分顔見知りのメンバー達は、早速に各論に入ります。総合テーマは「世俗化」。キリスト教や真宗は、現代社会にどのように接点を持つのか。宗教衰退説からさらには宗教有害論ま



会場の様子

で飛び交う昨今、歴史学的見地や社会学的見地、もちろん神学や真宗学的見地からも、じっくり議論がなされました。中でもベルリンから参加した研究者の、キリスト教徒の現状に関する報告は深刻でした。今から50年前の調査では、キリスト教徒はドイツ国民全体の70パーセントを超えていましたが、現在は25パーセント以下に割り込んでいるとのことでした。これはかなり深刻なキリスト教離れと言えるでしょう。日本の仏教がどのような状況にあるのか、大差はないものと思われます。

研究交流の詳細については、同シリーズをご覧いただきたいと思えます。仏教とキリスト教は、歩

んできた歴史も置かれている状況も、そして何よりも信仰の基本的構造もまったく違います。今回の連続の交流も、キリスト教と真宗の信仰が互いに歩み寄ることは決してないことをさらに確信した会でありました。しかしその確信が、相手を尊敬し信頼するという形でなされたものであったことが、自分にも意外でした。それはお互いの関心の究極が、結局はひとつところに収まるからなのでしょう。それは苦悩する人間と、その解放へ向けての真剣な眼差しです。

5年をかけて、ようやく本格的な交流が可能となる基盤が出来上がったというのが現状です。あらたにメンバーを加えつつ、第4回、



ドイツでの会議風景

事務窓口ホームページ化への取り組み ～「学生向け情報提供システム」を利用しよう！～

◆**利用方法**◆ 大谷大学・大谷大学短期大学部ホームページ (<http://www.otani.ac.jp/>) から「学生向け情報提供システム」にログインしてください。(システムについてわからない時は、ログイン画面の【ブラウザの設定について】【よくある質問】を参照してください。)

【授業情報】

休講・補講・教室変更の情報を時間割形式や一覧形式にて色分けして表示します。



《週間授業情報》
個人の聴講登録に合わせて表示します。
ただし、サービス開始は、聴講登録確定後になります。



《一覧表示》
全科目表示と履修科目のみの選択ができます。

【就職支援】

業種・職種・勤務地などを元に検索し、リストアップすることができます。また、進路就職センターで所有している各情報・データを閲覧できます。



《求人検索》
個人別に検索項目を登録することで、パーソナル情報登録も可能です。



《求人票(PDF形式)》
企業から実際に送付された求人票をPDF形式で閲覧できます。

◆「学生向け情報提供システム」利用者に聞いてみました◆

わたなべ ひろまさ
渡辺 啓真先生 (人文情報学科)



渡辺：祖開君、「学生向け情報提供システム」を利用している？

祖開：ええ、毎日利用しています。授業の合間でちょっと時間ができた時に、3号館や総合研究室のパソコンでこまめに利用していますよ。

渡辺：主にどんなサービスを利用しているの？

祖開：【週間授業情報】と【一般掲示板】ですが、最近【就職支援】も利用しはじめました。【週間授業情報】は休講・補講・教室変更が色分けで表示され、一目で分かるのがいいですね！【一般掲示板】は様々な最新情報を確認できますし、【就職支援】では自分の希望条件を登録することで、説明会の案内や求人票を閲覧できるのが嬉しいです！

そかい たかひで
祖開 隆秀さん(第2学年 人文情報学科)



渡辺：なるほど、学生にとって本当に便利なシステムだね。就職活動の一面をサポートしてくれるというのも魅力的だね。

祖開：まだ使ったことがない方は、是非利用してみてください！本当に便利です！



はの ともみ
羽野 智美さん(第3学年 史学科)



私は、響流館3Fの総合研究室のパソコンで「学生向け情報提供システム」を利用しています。よく見るのは週間授業情報で、自分の時間割を登録すると、その授業の休講・補講・教室変更の最新情報が表示されるので、つい学内掲示板を確認するのを忘れてしまうことが多い私には、とても便利です。また私の友人は週間授業情報をプリントアウトして、その紙をファイルにはさんで持ち歩いて活用しています。【時間別教室状況】では、教室ごとに使用状況が表示されるので、クラブ活動での会議のための場所をとる時に利用しています。また、家を出る前に携帯電話からもう一度確認すると、急に休講になった授業があっても分かるので、知らないままに授業に行き、損をした気分になることがなくなりました。今後は就職活動をしていくに当たって【就職支援】を利用したいと思います。



◆携帯電話でも以下の項目を確認することができます◆

①休講情報 ②個人別時間割(休講表示有り) ③個人掲示板

利用方法

携帯電話の「インターネット接続」より下記URLを入力し、ログインしてください。

<https://www1.otani.ac.jp/m/> (ID・パスワードは、パソコン版と同じです。)

注：①携帯電話が「SSL対応機種」である必要があります。②通信料については、個人負担となります。



携帯電話版「学生向け情報提供システム」のTOPページ

「パソコンに関するアンケート」にご協力いただき、ありがとうございました。このアンケートをもとに、今後のサービス内容を検討していきます。アンケートの集計結果については、広報秋号に掲載する予定です。

データベースの利用について

教育研究支援部では、データベースのサービス提供を開始しました。図書館のHP「情報検索(OLIS)」から「DB検索」を選択し利用してください。下記に、利用できるデータベースとその内容について紹介します。

ネットで百科 for Library

日立システム&サービスが提供する、平凡社「世界大百科事典」を核としたインターネット百科事典検索サービスです。本文表示から国立情報学研究所が一般公開している図書検索サイト「Webcat Plus」へリンクし、関連する図書をすぐに見つけることができます。

* 使用後はログオフしてください。ログオフしなかった場合には、10分後にシス



MAGAZINEPLUS : <http://web.nichigai.co.jp/cgi-bin/astloginip.cgi?W=OTL&DB=00>

日外アソシエーツが提供する、日本最大規模の雑誌・論文見出しデータベースです。国立国会図書館「雑誌記事索引」(1975～)のほか、同索引には未収録の論文・レポートなどのほか、シンポジウムや講演などの発表をもとに国内で刊行さ



BOOKPLUS : <http://web.nichigai.co.jp/cgi-bin/astloginip.cgi?W=OTL&DB=01>

日外アソシエーツが提供する、昭和元年からの図書内容情報データベースです。
* 日外アソシエーツが提供するサービスをブラウザの「お気に入り」等に登録して利用する場合は、URLの編集作業が必要になります。

例：Internet Explorerの場合

- 1) 接続先にアクセスし、「お気に入り」にURLを登録する。
- 2) 次に「お気に入り」をクリックし、プルダウンした接続メニューから該当箇所を<右>クリック、プロパティ画面を選択する。
- 3) プロパティ画面の「WEBドキュメント」を選択
- 4) URLを修正する(最初に「お気に入り」に登録したURLは、その回限り)



閲覧 DNA (Digital News Archives) for Libraries

朝日新聞社が提供する1984.8～の朝日新聞、各都道府県で発行する地方版、「AERA」「週刊アサヒ」の記事が検索できます。

以上のデータベースは、アクセス数が制限されています。同時に複数のユーザーがアクセスした場合には接続できないことがありますので、少し待って再度ア



NACSIS-IR (情報検索サービス)

国立情報学研究所が研究者用に提供しているサービスです。広範な分野の文献情報、学術情報が検索できます(教育職員・大学院博士課程生が利用対象者となります)。

「機関別定額制」から、NACSIS-IRへ接続してください。

各データベースは、使用後必ずログアウトして下さい。なお、上記サービスは、大学が機関契約しているものですので、学外から利用することはできません。



また、国立情報学研究所では、NACSIS-IRのほかに下記のようなデータベースも公開していますので、あわせて紹介します。こちらは、学外からでも利用することができます。

国立情報学研究所 学術情報サービス：<http://www.nii.ac.jp/service-j.html>

Webcat (総合目録データベース)：<http://webcat.nii.ac.jp/>

全国の大学図書館等で所蔵している図書・雑誌の最新情報が検索できます。

Webcat Plus (NII図書情報ナビゲータ)：<http://webcatplus.nii.ac.jp/>

類似図書を連想的に検索、目次・内容・所蔵図書館情報を表示します(現在は和図書を収録)。

研究紀要ポータル：<http://kiyo.nii.ac.jp/>

国内の大学等が発信している研究紀要論文の情報が検索できます。論文本文へのリンク情報も登録されています。



Keiji★Ban

総務課

暁天講座の開講

本年度の暁天講座を次のとおり開講いたします。

- 7月21日(水) 大内 文雄 本学教授
「仏教と世俗との交流-石に刻まれた經典-」
- 7月22日(木) 廣瀬 惺 同朋大学教授
「親鸞聖人に教えられていること」
- 7月23日(金) 福島 光哉 本学名誉教授
「念仏の諸相」

*いずれも講堂において、午前6時30分から開講します。

*終了後、学内食堂において、朝粥を用意しております。

安居の開講

真宗大谷派の今年度の安居が、講本・講者
本学において次のとおり開講されます。〔本講〕

期 間 7月16日(金)～30日(金) 〔次講〕

場 所 大谷大学

なお、開講式(7月16日)と満講式(7月30日)は、真宗本廟阿弥陀堂において行われます。

「佛説観無量寿經」
嗣講 福島 光哉
「浄土文類聚鈔」
擬講 廣瀬 惺

*安居(あんご)とは、梵語(ほんご) varṣaまたはvārṣikaの訳語で「雨期」の意。古来インドでは、夏の雨期になると遊行(ゆぎょう・僧が諸国をめぐる)の說法、教化することが難しく、また、草や虫を踏み殺してしまう恐れがあるところから、精舎と呼ばれる窟院に住して修行した故事による、と言われていました。僧侶が雨期などある期間外出しないで一定場所に居住し、学習することをいいます。

図書館

夏期休暇中の図書館の館外貸出について

- 通常の貸出手続きによって借り出している図書は、すべて返却した後、夏期休暇中館外貸出の手続きを取ってください。
- 手続きには利用者カード（学生証・職員証および利用証）を必ず携帯してください。

■貸出冊数(通常貸出冊数と同じ)

文学部・短期大学部学生	5冊
科目等履修生・聴講生	
大学院学生	10冊
非常勤講師	
元教育職員・事務職員	20冊
教育職員・事務職員	

■手続期間

7月22日(木)～9月10日(金)

■返却日

9月24日(金) 厳守

夏期休暇中の図書館開館日時について

夏期休暇中（8月2日(月)～9月17日(金)）は、短縮開館となります。但し、土・日・祝日、大学事務休止日（8月10日～17日、9月3日）は休館します。

9月21日(火)より平常通り開館します。

*詳細、変更は掲示・ホームページにてお知らせします。

教務部

前期試験について

今年度の前期試験は、7月22日(木)より30日(金)までの期間に実施します。試験方法・時間割等詳細は、7月8日(木)に掲示します。教務部提出のレポート受付は次のとおりです。

受付日時

7月28日(水)・29日(木) 10:00～18:30 (時間厳守)

(18時30分を過ぎたものは一切受け付けません。注意してください。)

受付会場

文学部・大学院…… J103教室

短期大学部…… J102教室

真宗大谷派教師前期修練について

文学部第3学年主対象の前期修練は次のとおり行われます。受講予定者は掲示板で受講班を確認してください。

第1班 8月5日(木)～8月11日(水)

第2班 8月19日(木)～8月25日(水)

第3班 8月29日(日)～9月4日(土)

第4班 9月6日(月)～9月12日(日)

第5班 9月13日(月)～9月19日(日)

前期追試験について

病気等の理由で前期試験を受けられなかった場合には、教務部へ出願することにより、次のとおり追試験を実施します。

(許可理由等の詳細は『履修要項』で確認してください。)

①出願期間

当該科目試験日から一週間以内。ただし、7月29日(木)・30日(金)の試験については8月4日(水)が出願締切りになります。

②追試験要項および時間割発表

8月19日(木)

③追試験日

8月24日(火)・25日(水)

集中講義期間について

今年度の集中講義期間は次のとおりです。各科目の日程については時間割表・掲示物で確認の上、受講してください。

集中講義期間

9月6日(月)～9月17日(金)なお、教室については7月下旬に掲示します。

後期の日程について

9月21日(火)より後期授業が始まります。

また、この日に前期成績の「履修単位通知書」を配付しますので、学生証持参の上、講堂棟1階ホワイエにて受領してください。

9月29日(水)～10月1日(金)は修正登録期間です。前期評価の結果、登録の修正が必要な場合はこの期間中に手続きをしてください。修正の可否、追加募集科目等の詳細は7月中旬に掲示にてお知らせします。

卒業研究の提出について

◎卒業研究提出・題目変更締切日について

明年3月、短期大学部卒業見込み学生は、右記の一覧表で卒業研究提出締切日等を確認の上、期日を厳守してください。

なお、題目を変更する場合は、所定の「題目変更届」を教務部窓口で受取り、指導教員の承認印を得た上で、右記の題目変更締切日までに教務部へ提出してください。

◎提出場所について

教務部窓口へ提出してください。

なお、締切最終日のみ右記の会場へ提出してください。

— 提出締切日時について —

種 別	題目変更締切日	論文提出締切日時
卒業研究 (仏教科・文化学科)	10月25日(月)	11月1日(月)午後4時
卒業研究 (幼児教育科)	11月19日(金)	11月30日(火)午後4時

— 提出最終日の会場について —

種 別	最 終 日	会 場
卒業研究 (仏教科・文化学科)	11月1日(月)	至誠館2階会議室
卒業研究 (幼児教育科)	11月30日(火)	至誠館2階会議室

(注意事項)

■論文等の提出方法や様式については、『履修要項』・『卒業研究作成の手引』で確認してください。

■ワープロ使用や縦書・横書等の様式については、学科等により制限事項が異なりますので、事前に指導教員と相談してください。

なお、ワープロを使用する場合で、所定の書式以外で提出するときは、題目変更締切日までに「ワ

ープロ書式所定外作成届」を提出してください。

■提出最終日の締切時間「午後4時」とは、題目確認・ページ数の記入・目次の作成・見返し等をすべて整え製本した状態で提出する最終時間のことです。午後4時の段階で、この要件を満たしていない卒業研究は受領できませんので注意してください。

入学センター

オープンキャンパス ボランティア学生募集

オープンキャンパスとは、主に高校生を対象に、大谷大学・大谷大学短期大学部のことをよく知ってもらうために実施する大学見学会です。毎年2000名以上の高校生が大谷大学を見学に来ています。このオープンキャンパスでは例年在学生のボランティアの方に、見学者に渡す資料の準備や、当日の受付、施設案内、フリートークの

コーナーなどにご協力いただいています。

今年度も下記の日程でオープンキャンパスを実施いたしますので、高校生と話してみたいという人は、ぜひご協力ください。詳しくは入学センターまでお問い合わせください。クラブの有志での参加、一人で参加、1日だけの参加でも結構です。

問い合わせ先

入学センター (博綜館1階)
電話075-411-8114

オープンキャンパス開催日

8月1日(日) 10:00～17:00
8月2日(月) 10:00～17:00
9月23日(祝) 11:00～16:00

学 生 課

試験時の学生証の携帯について

7月22日(木)より7月30日(金)まで、前期定期試験が実施されます。

事前に「定期試験（受験注意事項）」（学生手帳73頁）を熟読しておいてください。

なお、定期試験は学生証を携帯

していないと受験できません。

万一、学生証を忘れた場合は、試験開始前に、学生課で仮学生証（発行当日のみ有効）の発行手続きをしてください。発行に際しては、手数料500円が必要です。

前期定期試験不正行為は厳禁!!

定期試験において、不正行為が発見された場合は、その試験期間の受験資格を失い、単位は与えられないなどの処罰を受けることがあります。試験には厳正な態度で臨んでください。

休暇中のアルバイトについて

夏期休暇を利用してアルバイトをしようとする場合は、安全で確実なものを選ぶことが大切です。賃金の高さにつられて、危険なアルバイトに手を出さないように注意してください。

アルバイトには、業務上の事故や、労働条件をめぐるトラブルが発生することがあります。信頼できる安全なアルバイトを選択するように心がけてください。

学生課では、安全なアルバイト

の紹介を行うとともに、アルバイトについての様々な相談も行っています。困った事があった場合には学生課に相談してください。

海外渡航についての注意

夏期休暇を控え、学生諸君の中には海外渡航の計画を進めておられる方も多いと思います。アメリカでの同時多発テロ発生以来、戦争や紛争、また、重症急性呼吸器症候群（SARS）等、海外で不測の事態に巻き込まれる危険が増大しています。渡航にあたっては、以下のホームページにて、渡航先の治安状況、衛生状態等を調査し、情報をこまめにチェックした上で慎重に計画を立ててください。利用する旅行会社・航空会社について信頼できる会社であるか、緊急連絡体制は万全か確認してくださ

い。また、自分自身を守るため海外旅行傷害保険に必ず加入してください。

渡航については「学生渡航届」の提出が必要です。指導教員の承認を得たうえで必ず学生課に提出してください。

厚生労働省検疫所ホームページ

<http://www.forth.go.jp/>

（海外渡航者のための感染症情報）

外務省海外安全ホームページ

<http://www.pubanzen.mofa.go.jp/>

万一、日本到着後に発熱、咳、嘔吐などの症状がある場合は、すぐに最寄りの保健所に電話で相談して下さい。また、すみやかに大学へ電話により状況を知らせてください。

本学連絡先

075-411-8120（保健室）

進路就職センター

進路就職センターは、進学・就職全般についての相談窓口です。学年を問わず気軽にご相談ください。

■第1回 就職ガイダンス 就職希望者は全員出席！

(文学部第3学年・短期大学部第1学年・修士課程第1学年・博士課程第2学年対象)

日時：2004年7月14日(水) 17:50～

場所：講堂

内容：就職活動の流れや、一般企業・公務員・教員を目指す場合に知っておかなければならないこと(履歴書・エントリーシート・筆記試験)などについてのガイダンスです。また、就職活動のすすめ方がわかる「就職のてびき」も配布します。就職活動の中で最も重要なガイダンスです。就職希望者は必ず出席してください。

■第2回 就職ガイダンス(自己分析研究ガイダンス)

(文学部第3学年・短期大学部第1学年・修士課程第1学年・博士課程第2学年対象)

日程・対象：2004年7月30日(金) 12:50～ 真・史・文・国際・短文化・修士・博士

8月3日(火) 12:50～ 仏・哲・社・人文・短仏・短幼

場所：後日掲示にて確認のこと

内容：就職活動をする時に、一番大切なのが「自己分析」です。「自分はどのような人物か」「自分の適性は何か」をよく理解して、「どんな仕事がしたいのか」を考えることが今後の就職活動に大きな意味を持ちます。では、どのように自己分析をすすめるのか、その方法と考え方について解説します。就職希望者は必ず出席してください。

■エントリーシート対策模試を実施！

(文学部第3学年・短期大学部第1学年・修士課程第1学年・博士課程第2学年対象)

日程・対象：2004年9月15日(水) 真・史・文・国際・短文化・修士・博士

9月16日(木) 仏・哲・社・人文・短仏・短幼

時間・場所：後日掲示にて確認のこと

内容：採用試験で直面する「企業独自の履歴書」、それがエントリーシートです。このエントリーシートがどのようなものか、実際に取り組んでみる模試です。就職を希望する学生は全員受験してください(無料・申込不要)。

■筆記試験対策講習を実施！

(文学部第3学年・短期大学部第1学年・修士課程第1学年・博士課程第2学年対象)

日時：2004年9月13日(月)～17日(金) 13:00～16:10

場所：後日掲示にて確認のこと

内容：一般企業の採用試験(筆記試験)で頻出される「一般知能」「論作文」「時事問題」の分野についての対策講習です(有料・定員有・申込制)。

申込期間：2004年9月1日(水)～10日(金)

申込先：進路就職センター

第1学年からのサービス紹介 ～キャリア形成を考える～

～資格取得を目指そう～

◎秘書技能検定対応ビジネスマナー講習

社会人となってから必要とされるビジネスマナーを、基本から応用まで幅広く学ぶ。

※第74回秘書技能検定試験は11月6日に実施予定です（要別途申込）。

◎TOEICレベルアップ講習 第2回・第3回

第2回は400点・第3回は500点へのレベルアップを目指した対策講習を開講します。

〈受講コースの目安〉

★400点コース

○英検取得級は3級がやっとだった。○海外旅行で簡単な挨拶、食事の注文、買い物などの基礎的な会話ができる

★500点コース

○英検準2級取得済み。○空港のアナウンスぐらいは聞き取れる。○ディズニーのアニメぐらいなら英語版でもほぼ理解できる。

◎マイクロソフトオフィススペシャリスト

(Word・Excel) 対策講習

第2回・第3回・第4回

仕事をする上でもっとも使用されているWord・Excelについての講習です。また別途申込にてマイクロソフトオフィススペシャリスト検定試験も受験していただけます。

～難関試験に早期から備えよう～

◎公務員受験特別講習 基礎講座

公務員希望者を対象に、採用試験に対しての基礎的な受験対策講習を開講します。

今回の講習は、国家Ⅲ種・地方初級レベルから中級レベルに向けての一般知識・一般知能分野(数的推理・判断推理・資料解釈)対策となります。受講は学年を問いません。

※その他「教員受験特別講習」「社会福祉士対策講習」も実施予定です。詳細が決定次第掲示します。

秘書技能検定対応ビジネスマナー講習(2級) 第2回

日程	時間	定員	受講料	テキスト	受付期間
9月 21、24、27、29	17:50~20:00	40	3,000	学内書店にて購入	7月20日(火)~30日(金)
10月 4、6、15、18 20、25、27					
11月 1、5					

TOEICレベルアップ講習

●第2回

日程	時間	定員	受講料	テキスト	受付期間
400点コース 9月 1、2、3、6、8、9、 10月 10、13、15、17	10:40 ~12:40	20	15,000	学内書店にて購入	7月22日(火)~30日(金)
9月 27、30	18:00				
10月 4、7、14、18、21	~20:00				

●第3回

日程	時間	定員	受講料	テキスト	受付期間
500点コース 10月 25、28	18:00 ~20:00	20	15,000	学内書店にて購入	10月4日(月)~15日(金)
11月 1、4、8、18、 25、29					
12月 2、6、9、13 16、20					
1月 13、17、20					

マイクロソフトオフィススペシャリスト対策講習

●第2回

日程	時間	定員	受講料	テキスト	受付期間
8月 23~27、30、31	10:00~15:40	30	5,000	学内書店にて購入	7月20日(火)~30日(金)
9月 1、2					

●第3回

日程	時間	定員	受講料	テキスト	受付期間
9月 6~10、13~16	10:00~15:40	30	5,000	学内書店にて購入	7月20日(火)~30日(金)

●第4回

日程	時間	定員	受講料	テキスト	受付期間
9月 24	16:10~19:20	30	5,000	学内書店にて購入	9月21日(火)~22日(水)
10月 1、8、15、22、29					
11月 5、26					
12月 3、10、17、22					

公務員受験特別講習 基礎講座

日程	時間	定員	受講料	テキスト	受付期間
10月 14、19、21、 26、28	17:50~19:20	50	4,000	2,600円 当日会場にて販売	9月21日(火)~30日(休)
11月 2、4、9、16、 18、25、30					
12月 2、7、9					

●日程、時間、受講料等については予定です。実施要項や掲示等に注意してください。

財 務 課

2004年度 後期学生納付金（学費）の納入について

納入期限は9月30日(木)一締切日
厳守一です。

後期学生納付金の納入期限は9
月30日(木)＜銀行受付日付有効・納
入期日厳守＞です。

納入期限までに納入のない場合
は、学則により除籍となりますの
で注意してください。振込依頼書

は、保証人宛に8月31日に大学よ
り一斉発送します。保証人住所、
現住所、電話番号など、学籍事項
に変更があった場合は必ず学生課
に「学籍事項登録票（変更）」を
提出してください。また、振込依
頼書が届かない場合、紛失、破損
した場合には再発行しますので、
財務課まで申し出てください。

なお、事情により期限内納入が
困難と予測される場合には、必ず
納入期限までに学生課に相談し、
学費延納の手続きをしてくださ
い。

手続きには「学費延納許可願」
(所定用紙) および学生納付金負
担者の所得証明書(納税証明書・
源泉徴収票等)が必要です。

2004年度 後期学生納付金一覧

文学部

		授業料	施設費	大谷学会費	学生会費	教育後援会費	同窓会入会金	同窓会終身会費	合計額
第1～3学年	真宗、仏教、哲、社会、 史、文、国際文化学科	397,500	100,000	1,000	2,500	15,000			516,000
	人文情報学科	397,500	175,000	1,000	2,500	15,000			591,000
第4学年	本年度進級学生	397,500	100,000	1,000	2,500	15,000	5,000	30,000	551,000
	// 人文情報学科	397,500	175,000	1,000	2,500	15,000	5,000	30,000	626,000
	同窓会入会金・終身会費 納入済学生	397,500	100,000	1,000	2,500	15,000			516,000
	// 人文情報学科	397,500	175,000	1,000	2,500	15,000			591,000

短期大学部

		授業料	施設費	大谷学会費	学生会費	教育後援会費	同窓会入会金	同窓会終身会費	合計額
第1学年	仏教、文化学科	397,500	100,000	1,000	2,500	15,000			516,000
	幼児教育科	397,500	110,000	1,000	2,500	15,000			526,000
第2学年 仏教、文化学科	本年度進級学生	397,500	100,000	1,000	2,500	15,000	5,000	30,000	551,000
	同窓会入会金・終身会費 納入済学生	397,500	100,000	1,000	2,500	15,000			516,000
第2学年 幼児教育科	本年度進級学生	397,500	110,000	1,000	2,500	15,000	5,000	30,000	561,000
	同窓会入会金・終身会費 納入済学生	397,500	110,000	1,000	2,500	15,000			526,000

大学院

		授業料	施設費	大谷学会費	学生会費	教育後援会費	同窓会入会金	同窓会終身会費	合計額
修士 第1学年		240,000	60,000	1,000		15,000			316,000
博士 第1・2学年		240,000	60,000	1,000		15,000			316,000
修士第2学年・ 博士第3学年	本年度進級学生	240,000	60,000	1,000		15,000	5,000	30,000	351,000
	同窓会入会金・終身会費 納入済学生	240,000	60,000	1,000		15,000			316,000

同窓会入会金・終身会費については、本学短期大学部・文学部を卒業、修士課程を修了時など
過去に納入されていれば不要です。

2004年度より大谷学会費・学生会費・教育後援会費は前期と後期の分割納入となりました。

「セクシュアル・ハラスメント防止のためのガイドライン」と 「人権問題相談窓口」について

2001年度に「大谷大学人権センター」が設置され、部落差別の問題や民族差別、障害者差別、性差別など、あらゆる人権侵害の問題に関する教育、研究、啓発を行っています。

また、セクシュアル・ハラスメント（性的いやがらせ）についても、これは「人権侵害」であるという認識にたつて、学習会やリーフレットの配布による啓発などを行っておりますが、それが性差別であるとの認識がまだ充分には定着していない現状があります。セクシュアル・ハラスメントは、先輩・後輩、教職員・学生など、力関係を背景にしておこなわれることが少なくありません。それゆえ、加害者の認識の不充分さは無論のことですが、被害を受けた側も、自分に非があると思ひ込んだり、泣き寝入りすることが多くあります。

本学では、誰もが安心して学び得る大学、気持ちよく仕事につける大学であることを願って、「セクシュアル・ハラスメント防止のためのガイドライン」を策定しておりますので、よくお読みいただき認識を深めるとともに、万一にもセクシュアル・ハラスメントの被害にあった場合は、「人権問題相談窓口」をご利用ください。

「人権問題相談窓口」は、セクシュアル・ハラスメントの問題に限らず、どのような人権侵害についても、秘密厳守の上で相談に応じておりますので、気軽にご利用ください。なお、「人権問題相談窓口」と「相談員」については、「学生手帳」(75ページ)に掲載しています。

(人権センター)

2001年4月1日

大谷大学セクシュアル・ハラスメント防止のためのガイドライン

大谷大学人権委員会

1. 目的

このガイドラインは、大谷大学（大谷大学短期大学部及び大谷大学大学院を含む。以下、「本学」という。）の構成員であるすべての学生（科目等履修生・聴講生・外国人留学研究生・研修員・公開講座の受講生等、本学で教育を受けるすべての者を含む。）及びすべての職員（契約職員・兼任職員・アルバイト職員等、本学で就労するあらゆる形態の者を含む。）が相互に人権を尊重し、修学、就労、教育及び研究の場としてふさわしい良好な環境を維持するため、セクシュアル・ハラスメントの防止とその対応策について必要な事項を定めることを目的とする。

2. 基本方針

セクシュアル・ハラスメントは不当な性差別であり、個人の尊厳を損ない人権を侵害する行為である。本学は、本学の建学の精神及び日本国憲法、教育基本法、男女雇用機会均等法、女性差別撤廃条約等の精神に則り、セクシュアル・ハラスメントの防止に努めるとともに、セクシュアル・ハラスメントが発生した場合に適正な対応と諸施策を講じる責務を負う。

すべての本学構成員は、このガイドラインの目的を理解し、セクシュアル・ハラスメントの防止とその解決に努めなければならない。

このガイドラインは、本学に関係するすべての者を対象とする。

3. セクシュアル・ハラスメントの定義

セクシュアル・ハラスメントとは、修学、就労、教育及び研究上の関係において、相手の意に反する性的な言動によって、修学、就労、教育及び研究上の不利益や利益を与え、又は修学、就労、教育及び研究上の環境を悪化させることをいう。

性的な言動とは、性的な関心や欲求に基づく言動をいい、性的な文書や図画の掲示や、性別により固定的な役割を分担すべきとする意識に基づく言動も含む。

不利益や利益とは、性的な欲求への服従又は拒否を理由に、進学、進級、成績評価及び教育・研究上の指導等を受けられる際の取り扱いにおける不利益や利益、また、昇任、配置換え等の任用上の取り扱いや、昇格、昇給、諸手当等の給与上の取り扱いに関する不利益や利益、また、誹謗中傷を受けることその他事実上の不利益や利益をいう。

環境の悪化とは、セクシュアル・ハラスメントによって、修学、就労、教育及び研究に専念し難い程度に環境が不快なものになることをいう。

セクシュアル・ハラスメントの存在の有無の判断は、行為者本人の意図に関わらず、その行為が相手の意に反したものであるかどうかによる。

4. セクシュアル・ハラスメントに対する心がまえ

(1) 教員と学生の関係において、教員は成績評価や単位認定等に関わる重要事項についての権限を有している。したがって、そのことがセクシュアル・ハラスメントの基盤又は背景となりうることを十分に認識すべきである。

また、職員を指揮・監督する地位にある者と指揮・監督される地位にある者との関係においても、役職の上下関係そのものがセクシュアル・ハラスメントの基盤又は背景となりうることを十分に認識すべきである。

(2) セクシュアル・ハラスメントを起こさないためには、お互いの人格を尊重し、お互いが大切なパートナーであるという意識をもつことである。

したがって、相手を性的な関心の対象としてのみ見る意識をなくすこと、また、異性を劣った性として見る意識をなくすことが大切である。そして、相手を不快にさせる性的な言動や、性的な誘いかげと受け取られうる言動、性的に好意的な態度を要求していると受け取られうる言動等を避けるように心懸けるべきである。

また、セクシュアル・ハラスメントは異性間のみならず、同性間においても生じることに留意すべきである。

(3) セクシュアル・ハラスメントの被害を受けた場合は、相手に対して明確に拒否の意思表示をすることが望まれる。

明確な意思表示ができない場合は、その日時、場所、状況等について記録（メモ）を取り、信頼できる人に話しておく。また、自らがどのように対応したかも記録（メモ）に取っておく。できれば相談窓口で相談員に相談する。

セクシュアル・ハラスメントの場面を見聞きした場合や、被害者から相談を受けた場合は、できるだけ被害者の力になり、相談窓口に行くように勧める。セクシュアル・ハラスメントの被害にあったと感じた人は、自分にも落ち度があったとか、その場で意思表示できなかったなどと自分を責める必要はない。

(4) 性に関する言動に対する受け止め方には、個人や男女間で差がある。したがって、セクシュアル・ハラスメントであるか否かについては、セクシュアル・ハラスメントを受けた者の判断が重要である。

したがって、親しさを表すつもりと言動が相手を不快にさせる場合のあること、この程度のことは相手も許容するだろうと勝手に憶測しないこと、相手と良好な人間関係ができていないと勝手に思い込まないこと等に注意しなければならない。

また、セクシュアル・ハラスメントであるか否かについて、セクシュアル・ハラスメントを受けた者からいつも意思表示があるとは限らないことを十分に認識すべきである。状況や立場によって拒否の意思表示ができないことも少なくなく、それを同意や合意と勘違いしてはならない。

(5) 本学構成員はセクシュアル・ハラスメントが発生しないように、修学、就労、教育及び研究上の良好な環境を維持するために、日頃から注意する必要がある。

また、学外や職務時間外におけるセクシュアル・ハラスメントにも注意しなければならない。

さらに、本学構成員間のセクシュアル・ハラスメントに注意するだけでは不十分であり、関係する学内外者との関係にも注意する必要がある。

5. セクシュアル・ハラスメントになり得る言動の例

(1) 教室・研究室・職場の内外で起きやすいもの

A. 性的な内容の発言等

a. 性的な関心、欲求に基づくもの

- ・スリーサイズを聞く等、身体的特徴を話題にすること
- ・卑猥な冗談を交わすこと
- ・体調が悪そうな女性に「今日は生理日か」、「もう更年期か」等と言うこと
- ・「彼とはどんな関係か」等と、性的経験や性生活について質問すること
- ・「結婚しているのか」、「離婚したのか」等としつこく聞くこと
- ・性的なうわさを流したり、性的なからかいの対象とすること
- ・授業内容と関係のない性的な話題を授業中に持ち出すこと

- b. 性別により差別しようとする意識に基づくもの
 - ・「男のくせに根性がない」、「女には仕事を任せられない」、「女性は職場の花でありさえすればいい」、「女は学問などしなくてもよい」等と発言すること
 - ・成人に対して、「男の子」、「女の子」、「僕、坊や、お嬢さん」、「おじさん、おばさん」等と人格を認めないような呼び方をする

B. 性的な行動等

- a. 性的な関心、欲求に基づくもの
 - ・ヌードポスター等を研究室や職場に貼ること
 - ・雑誌等の卑猥な写真・記事等をわざと見せたり、読んだりすること
 - ・職場のパソコンのディスプレイに卑猥な画像を表示すること
 - ・身体を執拗に眺め回すこと
 - ・食事やデートにしつこく誘うこと
 - ・性的な内容の電話をかけたり、性的な内容の手紙、Eメールを送りつけること
 - ・身体に不必要に接触すること
 - ・不必要な個人指導を行うこと
 - ・浴室やトイレ、更衣室等をのぞき見すること
- b. 性別により差別しようとする意識等に基づくもの
 - ・女性であるというだけでお茶くみ、掃除、私用等を強要すること
 - ・女性であるというだけの理由で、仕事や研究上の実績等を不当に高く又は低く評価すること
 - ・男性であるというだけの理由で、仕事や研究上の実績等を不当に高く又は低く評価すること

(2) 主に教室・研究室・職場の外において起きやすいもの

- a. 性的な関心、欲求に基づくもの
 - ・性的な関係を強要すること
 - ・ゼミやクラス、クラブ、サークル、職場等の旅行の宴会の際に浴衣に着替えることを強要すること
 - ・出張への同行を強要したり、出張先で不必要に自室に呼ぶこと
 - ・自宅までの送迎を強要すること
 - ・住居等まで付け回すこと
- b. 性別により差別しようとする意識等に基づくもの
 - ・カラオケでのデュエットを強要すること
 - ・酒席で、指導教員、上司等のそばに座席を指定したり、お酌やチークダンス等を強要すること

6. セクシュアル・ハラスメント防止のための施策

- (1) 本学は、セクシュアル・ハラスメントが起きやすい環境や慣習がある場合、それを改善するとともに、セクシュアル・ハラスメント防止のための啓発活動を行う。
- (2) 本学は、すべての本学構成員を対象としたセクシュアル・ハラスメント防止に関する研修又は学習活動を行う。
- (3) 本学は、本学における人権教育・研究に関する大綱を定め人権問題（セクシュアル・ハラスメントなどの性差別問題をはじめ、部落差別問題、民族差別問題、障害者差別問題等）全般に関する事項を審議する人権委員会を置く。
- (4) 本学は、本学の人権教育・研究・啓発を推進すること及び教育・研究の場にふさわしい環境づくりを推進することを目的とする人権センターを置く。
- (5) 本学は、人権問題全般にわたる教育・研究・啓発に関する具体的事項を企画立案し、これを推進することを目的とする人権教育推進委員会を置く。
- (6) 本学は、人権センター内に人権問題相談窓口を設置し、相談員を置く。相談窓口では、セクシュアル・ハラスメントの相談をはじめ、その他の人権問題全般に関する相談に対応する。
- (7) 本学は、セクシュアル・ハラスメントをはじめ、その他の人権侵害等に関する問題が生じた場合、人権問題調査委員会を設置する。

学問のしおり

国際文化学科が開設されてから、早くも10年が経過した。私は開設当初からこの学科に関わり、主に1年生から4年生の演習（ゼミ）を担当してきたが、今年始めてアメリカ文化の講義をするよう要請された。長年のあいだ授業でアメリカ文化の様々な側面について語ってきたが、いざそれについて講義することになると、なににポイントを置いてよいのか迷ってしまった。最初はアメリカの歴史について時代を追って紹介するつもりであったが、結局はこの方法はやめ、ネイティブ・アメリカン（インディアン）、移民、そして黒人という三つの課題を中心に講義を進めて行くことにした。

アメリカの歴史を考えると、私はいつもその「光」と「影」の両面に注意をはらうように努めている。アメリカは大きな理想のもとに誕生した国である。トーマス・ジェファソンなどが起草した独立宣言では「すべての人間は神によって平等に造られ、一定の譲り渡すことのできない権利をあたえられており、その権利

のなかには生命、自由、幸福の追求が含まれている。」と高らかに述べられている。この独立宣言はアメリカの民主主義の基礎を形成しただけではなく、後のフランス革命や、戦後にはアジアやアフリカの植民地の独立運動にも大きな影響を与えた。

しかしコロンビア大学のエリック・フォーナー教授が指摘しているように、「すべての人間には一定の権利がある」と宣言しながらも、長いあいだ女性と黒人とネイティブ・アメリカンは二流の市民とされ（時には人間以下のものとされ）、白人男性と平等な権利があるとは考えられていなかった。ここにアメリカの「影」の部分が潜んでいる。女性が参政権を獲得したのは1920年であったし、黒人奴隷制度は南北戦争という大きな悲劇なしには廃止されなかった。

特にネイティブ・アメリカンの歩んだ道は悲惨なものであった。白人たちは新大陸に新種の病気をもたらし、免疫を持たないネイティブ・



アメリカの「光」と「影」 — アメリカ史のもう一つの視点

Robert F. Rhodes

アメリカンは多く命を落とした。コロンブスが新大陸を発見した1492年には500万人から1,000万人のネイティブ・アメリカンがいたと推定されているが、その数は1800年には60万に減少した。またヨーロッパからの入植者たちは富と自由な生活を求めてやってきたが、彼等の夢を実現するためには、皮肉にもネイティブ・アメリカンは排除されなければならなかった。先祖の土地を護ろうとして武力をもって抵抗すれば、軍隊によって弾圧された。このようにネイティブ・アメリカンは常に白人によって迫害され、西に追いやられ、ついには窮屈な居留地（特別保護区）に住むことをよぎなくされた。そのような情勢のなかで、アメリカ南東部のチェロキー族は、武力には訴えず、自らを欧米風の近代的国家に作り変えることによって白人に抵抗し、独立を維持しようとした。その一環としてチェロキー文字が考案され、憲法が制定され、大統領や議会も設けられた。しかしその努力も空しく、彼らは1838年に、ミシシッ

ピー川の西にあるオクラホマの居留地へと強制的に移住させられた。厳しい冬の季節に実行された「涙の旅路」(Trail of Tears)の名で知られるこの大移動では、約1000人のチェロキーの人々が亡くなったとされている。

以上のようにアメリカは、すべての人間は平等であり、生命・自由・幸福の追求という権利を持つものであるという、大きな理想を掲げて誕生した国であるが、その歴史を通じて常にその理想に背いてきた国でもある。最近のイラク情勢など見ていると、アメリカは民主主義と人々の自由をもたらすために戦争に踏み切ったと主張しているが、その目的と矛盾する行為がイラクに駐留する米軍により行われている。これもまた自らの理想に背くアメリカの姿であろう。今こそ、すべてのアメリカの人々が自国の歴史について学びなおす必要があるのではないか。

(ロバート F. ローズ 教授 仏教学・国際文化)

2004年度 同窓会支部巡回講演会開催一覧

支部名	開催日	講師
函 館	7月23日(金)	小谷信千代 教 授
小 樽	7月25日(日)	小谷信千代 教 授
札幌・岩見沢・夕張	7月3日(土)	藤嶽 明信 教 授
芦別・砂川	7月24日(土)	安富 信哉 教 授
室 蘭	7月24日(土)	小谷信千代 教 授
深 川	7月26日(月)	木越 康 助 教授
旭 川	7月25日(日)	木越 康 助 教授
十 勝	7月25日(日)	安富 信哉 教 授
網 走	7月27日(火)	安富 信哉 教 授
紋 別	7月23日(金)	木越 康 助 教授
名 寄	7月24日(土)	木越 康 助 教授
釧 根	7月26日(月)	安富 信哉 教 授
青 森	9月3日(金)	小野 蓮明 教 授
秋 田	9月2日(木)	小野 蓮明 教 授
岩 手	9月1日(水)	小野 蓮明 教 授
宮 城	9月6日(月)	一楽 真 助 教授
山 形	9月8日(水)	一楽 真 助 教授
福 島	9月7日(火)	一楽 真 助 教授
茨 城	9月6日(月)	織田 顕祐 助 教授
栃 木	9月3日(金)	安富 信哉 教 授
群 馬	9月4日(土)	織田 顕祐 助 教授
埼 玉	9月4日(土)	安富 信哉 教 授
千 葉	9月5日(日)	織田 顕祐 助 教授
東 京	8月7日(土)	木村 宣彰 学 長
神 奈 川	8月28日(土)	延塚 知道 教 授
山 梨	8月6日(金)	木村 宣彰 学 長
信濃学友会	9月3日(金)	築山 修道 教 授
静 岡	8月19日(木)	築山 修道 教 授
三 為 会	8月20日(金)	築山 修道 教 授
尾張学友会	9月10日(金)	神戸 和麿 教 授
三 重	9月9日(木)	神戸 和麿 教 授
大 垣	9月11日(土)	高井 康弘 教 授
岐 阜	9月11日(土)	神戸 和麿 教 授
郡 上	8月22日(日)	小野 蓮明 教 授
飛 騨	8月24日(火)	宮下 晴輝 教 授
三 条	9月2日(木)	築山 修道 教 授

支部名	開催日	講師
上 越	9月4日(土)	築山 修道 教 授
富 山	8月24日(火)	木村 宣彰 学 長
高 岡	8月25日(水)	木村 宣彰 学 長
金 沢	8月26日(木)	木村 宣彰 学 長
能 登	8月23日(月)	木村 宣彰 学 長
小 松	8月20日(金)	宮下 晴輝 教 授
大 聖 寺	8月19日(木)	宮下 晴輝 教 授
福 井	8月18日(水)	宮下 晴輝 教 授
長 浜	8月8日(日)	高井 康弘 教 授
湖 東	9月4日(土)	大内 文雄 教 授
湖 南	8月29日(日)	築山 修道 教 授
湖 西	8月29日(日)	小谷信千代 教 授
丹 但	8月21日(土)	藤嶽 明信 教 授
島 根	8月29日(日)	沙加戸 弘 教 授
大阪4支部合同	9月11日(土)	沙加戸 弘 教 授
和 歌 山	8月23日(月)	※支部総会のみ
奈 良	9月12日(日)	一楽 真 助 教授
神戸・阪神	8月21日(土)	沙加戸 弘 教 授
播 磨	9月2日(木)	沙加戸 弘 教 授
岡 山	8月28日(土)	沙加戸 弘 教 授
福 山	9月3日(金)	沙加戸 弘 教 授
広 島	9月2日(木)	延塚 知道 教 授
山 口	9月4日(土)	沙加戸 弘 教 授
四 国	9月6日(月)	延塚 知道 教 授
福 岡	9月1日(水)	木村 宣彰 学 長
久 留 米	8月27日(金)	大内 文雄 教 授
佐 賀	8月26日(木)	大内 文雄 教 授
大 分	8月30日(月)	木村 宣彰 学 長
北 九 州	8月31日(火)	木村 宣彰 学 長
長 崎	9月2日(木)	木村 宣彰 学 長
熊 本	8月28日(土)	大内 文雄 教 授
宮 崎	8月21日(土)	大内 文雄 教 授
鹿 児 島	8月20日(金)	大内 文雄 教 授

2004年度 父母兄弟懇談会開催一覧

名称	開催日	開催地	会 場
四国地区父母兄弟懇談会	6月19日(土)	高 松 市	リーガホテルゼスト高松
東海地区父母兄弟懇談会	7月9日(金)	岐 阜 市	ばるるプラザ岐阜
	7月10日(土)	名 古 屋 市	ソフィテル ザ サイプレス名古屋
北海道地区父母兄弟懇談会	7月16日(金)	旭 川 市	藤田観光ワシントンホテル旭川
	7月17日(土)	札 幌 市	札幌全日空ホテル
近畿地区父母兄弟懇談会	9月25日(土)	京 都 市	大谷大学
北陸地区父母兄弟懇談会	12月3日(金)	富 山 市	オークスカナルパークホテル富山
	12月4日(土)	金 沢 市	ホテルイン金沢

谷大エリア散策

谷大エリア散策 第16回 若葉湯さん（銭湯）

新町通北大路上のお風呂屋さん・若葉湯さんを訪ねました。90歳の現在も番台に座っておられる山本千代子さんと、山本奈美子さんにお話を伺いました。



山本千代子さん・山本奈美子さん

—いつ頃から営業されていますか

50年くらい前に、五条からここに移ってきました。それ以来ずっとこの場所にいますが、25年程前に建て替えて上をマンションにしました。建て替える前は木造で情緒のあるいい建物でした。入口の屋根はお社のような造りで、前庭があり、脱衣所は格天井でとても雰囲気良かったのです。今でも惜しかったなあと思います。

—谷大の学生は当時からたくさん来ていましたか

大谷の学生さんにはずっと来ていただいています。一番近い大学ですからね。昔はお風呂のある家はほとんどありませんでしたし、近所の人が大勢来られていました。近くに下宿もたくさんありましたからね。うちも昔は2階に下宿生の人が出て、今のマンションにも大谷の方が毎年3～4人は入っていただいています。学生時代からずっと続けて来て下さっている先生もおられますよ。（30数年前に学生だった職員A氏の証言—当時、若葉湯には美人姉妹として知られた娘さんがおられて、男子学生の憧れの的でしたよ。下宿生の友人が「今、番台に上の娘さんが座っているぞ」などと知らせてくると、それ行け！ と皆で駆け付けた

ものです。この辺りには銭湯がたくさんあって、学生はそれぞれ自分のお気に入りの店をみつけて通っていました。入浴料が20円の時代、学寮生は割引券をもらって17円ほどで入れました）

—今はいかがですか

今は下宿もバス・トイレ付きのワンルームマンションでしょう。銭湯に来られる学生さんも少なくなりました。水洗トイレが普及したのと同じ頃に各家庭にもお風呂ができるようになり、その後どんどん銭湯は減っていきました。今では遠くから車で来て下さるお客さんの方が来て多いくらいです。スーパー銭湯と呼ばれるものができるようになって、日曜日が暇になったなあと感じます。以前は日曜日をもっと忙しかったです。少子化といわれていますが、確かに赤ちゃんが少なくなりましたね。昔は赤ちゃん用の寝台8台がいつも一杯で、面倒をみるのに大忙しでした。

—お風呂屋さんには独特の楽しさがありますね

お風呂から上がってからゆっくり本を読んだり、くつろいでいかれる方が結構おられます。男性のお客さんに多いですね。お風呂で知り合った方同士で食事や飲みに出かけたりしておられることもあるそうです。職業が違う人が知り合えるので楽しいのでしょうか。昔は「若葉会」というお客さん同士の友の会のような集まりがあって、顔なじみの方々とうちの主人も一緒に飲みに行ったりしていたこともあります。仕事仲間とはひと味違う、コミュニケーション作りの場になっているんですね。

女性のほうが忙しいのか、すぐお帰りになる方が多いようです。でも80歳の方でも若い方と一緒にパックやお肌のお手入れをされたり

して、年齢に関わりなく友達になっておられますよ。



広々としたお風呂

—お風呂屋さんといえばコーヒー牛乳などを売っていましたが

今でもありますよ。コーヒー牛乳は「懐かしい」と結構人気があります。いまだにこうしたビン入りの飲料が置いてあるのは銭湯くらいで、珍しいのでしょうか。

—お風呂屋さんの苦勞について

何と言っても夜が遅いですからね。午後3時から午前1時まで営業して、その後風呂場を洗ったり片付けたりしているともう3～4時頃になってしまいます。子供達が小さいときは生活の時間帯が違うので大変でした。昔はお風呂を沸かすのも、材木屋さんから端材を買って燃やしていきまして、温度を維持するために燃やし続けていなければなりません。今はボイラーのスイッチを押すだけです。今でも燃やす設備は残っていますので、どちらを使っても沸かすことはできるんですよ。

—ありがとうございました。



若葉湯外観

写真でふりかえる 大谷大学今昔



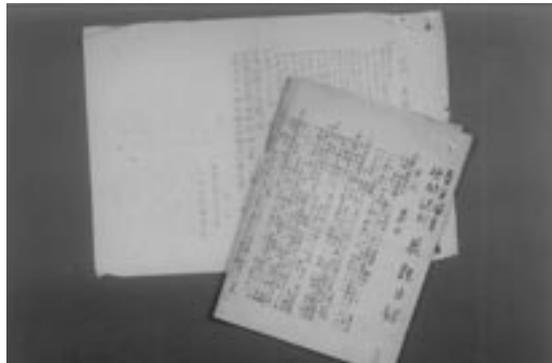
抹茶の接待を受けるダライ・ラマ



大般涅槃經（『北京版西藏大蔵経』第69英）



旧図書館書庫でのダライ・ラマ
案内・説明は教授佐々木教悟（現名誉教授・大谷大学同窓会長）



貴重圖書疎開訣別展観目録

大谷大学所蔵『北京版西藏大蔵経』のことども

佐々木 令 信

いま、大谷大学博物館で、二〇〇四年度夏季企画展「仏教の歴史とアジアの文化Ⅰ」が開催されている。会期は、五月二十五日（火）から八月二日（月）。目玉の一つに、豪華な装丁を施された本学ではなじみ深い清朝勅版の『北京版西藏大蔵経』がある。今回は、第六九英の『大般涅槃経』が出品されている。

チベット学の創始者・寺本婉雅（一八七二—一九四〇）の将来・寄贈による『北京版西藏大蔵経』は、いうまでもなく、仏教文化やチベット研究に寄与すること大であるが、先人の足跡について記してみよう。

誰もが明日の無事を確かに語れなかった太平洋戦争の時の話である。本学旧図書館の貴重図書を疎開させることが提案され、大谷派へ疎開費用二五〇〇円の下付けが上申されたのは、昭和十九年（一九四四）六月五日のことであった。疎開に先がけて開催された展観目録『貴重圖書疎開訣別展観目録』には、文化財をまもり抜く意志を読みとることができ、第一門 蔵経ノ部 第二門 単行佛典ノ部 第三門 宗典ノ部 第四門 文書ノ部 第五門 文学関係ノ部 第六門 画幅ノ部の内容で、ガリ版刷り九枚からなり、「昭和十九年六月一日成 大谷大學圖書館」とある。本学図書館蔵の『三島繁外三家保管大谷大学圖書ニ関スル契約書及目録』によると、『北京版西藏大蔵経』は、八拾八梱になり、仏教関係洋書拾四箱、講者肖像墨蹟參拾九幅とともに、当時の図書館長・名畑應順（一八九五—一九七七）の尽力で岐阜県郡上郡北濃村大字二日町の三島繁、川崎幸夫、三島一男、三島賢太郎家の四家に、昭和二十年六月七日より翌年六月六日まで疎開し、寄託することになるのである。

世界的文化事業として注目を浴びたことに、昭和三十年（一九五五）から三十六年にかけて、鈴木大拙（一八七〇—一九六六）発願の『影印北京版西藏大蔵経』全一六八巻が、近代的書物の体裁で刊行されたことがあげられる。この大事業の監修者の代表が、寺本婉雅にチベット語を学んだ当時の学長、山口益（一八九五—一九七六）であった。

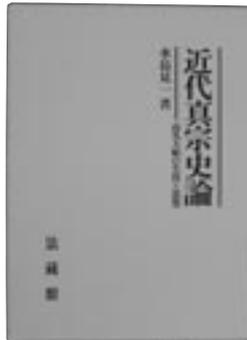
昭和四十二年（一九六七）九月三十日、ダライ・ラマが来学した。本学の同窓会誌『無尋燈』第四八号には（野上俊静）学長はじめ一同の案内で図書館のチベット大蔵経はじめ、仏教文献は長時間見学して帰国された。とくに北京版チベット大蔵経はじめチベット文献には強い関心を示され、故郷へ帰ったような思いがすると述

出版物紹介

- ◎『しあわせに死んで
真実に生きよう』
延塚知道 著
大谷大学同窓会埼玉支部刊
(2003.12) 43頁



- ◎『近代真宗史論
—高光大船の生涯と思想—』
水島見一 著
法蔵館刊
(2004.4) 305頁

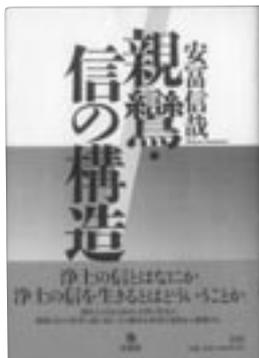


- ◎『内藤湖南 東洋文化史』
礪波護 編
中央公論新社刊
(2004.4) 474頁

- ◎『読解「ユリシーズ」(下)』
米本義孝 編注
研究社刊
(2004.6) 240頁

- ◎『古典期アテナイ民衆の宗教』
ジョン・D・マイケルソン 著
箕浦恵了 訳
法政大学出版局刊
(2004.4) 210頁

- ◎『親鸞・信の構造』
安富信哉 著
法蔵館刊
(2004.2) 208頁



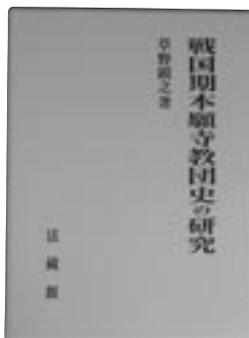
- ◎『Nung Lüang nung dam :
Tamnan khong phunam chaona
haeng lannathai
(『黄衣と黒衣—北タイにおける
農民指導者の物語』改訂版)
田辺繁治 著
Chulalongkorn University Press 刊
(2004.5) 231頁



- ◎『日本史文献事典』
黒田日出男 他編
豊島修 大桑斉 分担執筆
弘文堂刊
(2003.12) 1688頁

- ◎『平安文学研究ハンドブック』
田中登 山本登朗 編
赤瀬知子 分担執筆
和泉書院刊
(2004.5) 248頁

- ◎『戦国期本願寺教団史の研究』
草野顕之 著
法蔵館刊
(2004.3) 496頁



- ◎『清沢満之—生涯と思想—』
教学研究所 編
延塚知道 加来雄之
藤原正寿 共著
東本願寺出版部刊
(2004.3) 162頁

- ◎『岩波講座 宗教5 言語と
身体—聖なるものの場と媒体—』
池上良正 他編
田辺繁治 分担執筆
岩波書店刊
(2004.5) 32頁

- ◎『人間に生まれて
—清沢満之先生百周年記念—』
延塚知道 今村仁司
児玉暁洋 共著
崇信学舎刊
(2004.4) 141頁

- ◎『Paññāsajātaka kept
in the Otani University Library』
吉元信行 (編集代表)
荒牧典俊 清水洋平
長崎法潤 山本和彦 他編
大谷大学真宗総合研究所
パーリ貝葉研究班刊
(2004.3) 316頁

2004年度 春季大会結果

【団体成績】

クラブ名	日程	対戦校	結果	会場
サッカー部 関西学生サッカー連盟春季リーグ Ⅱ部Bブロック10位 Ⅲ部降格	4月4日(日)	大阪経済大学	●1-3	大谷大学湖西キャンパス
	4月11日(日)	龍谷大学	●0-2	同志社大学
	4月17日(土)	大阪商業大学	●0-5	大坂商業大学
	4月18日(日)	同志社大学	●1-2	大谷大学湖西キャンパス
	4月25日(日)	天理大学	●0-3	〃
	4月29日(木)	大阪経済法科大学	●1-2	同志社大学
	5月2日(日)	京都学園大学	●0-3	びわこ成蹊スポーツ大学
	5月5日(水)	姫路獨協大学	△1-1	大坂商業大学
	5月9日(日)	摂南大学	○1-0	奈良産業大学
	硬式野球部 京滋大学野球連盟春季リーグ戦 Ⅱ部1位	4月3日(土)	びわこ成蹊スポーツ大学	○5-1
4月4日(日)		〃	●4-5	京都府立大学
4月10日(土)		滋賀県立大学	○15-0	滋賀県立大学
4月11日(日)		〃	○7-0	〃
4月24日(土)		京都外国語大学	○9-2	太陽が丘球場
4月25日(日)		〃	○4-2	滋賀県立大学
4月29日(木)		京都薬科大学	○9-0	〃
5月3日(月)		〃	○13-0	京都工芸繊維大学
5月8日(土)		京都府立大学	○11-2	京都府立大学
5月22日(土)		京都工芸繊維大学	○7-0	京都工芸繊維大学
I部-Ⅱ部入替戦 2勝1敗 I部昇格	5月23日(日)	〃	○10-0	〃
	5月24日(月)	京都府立大学	○8-0	草津グリーンスタジアム
	5月29日(土)	京都創成大学	○11-2	太陽が丘球場
ソフトテニス部(男子) 関西学生ソフトテニス連盟 春季リーグ戦 V部2位	5月30日(日)	〃	●3-8	大谷大学湖西キャンパス
	5月31日(月)	〃	○7-4	草津グリーンスタジアム
	4月24日(土)	摂南大学	○4-1	流通科学大学
ソフトテニス部(女子) 関西学生ソフトテニス連盟 春季リーグ戦 V部2位	4月24日(土)	阪南大学	●2-3	〃
	4月24日(土)	流通科学大学	○4-1	〃
	4月24日(土)	京都外国語大学	○3-0	京都外国語大学
バレーボール部(男子) 関西学生バレーボール連盟 春季リーグ戦 V部優勝 Ⅳ部昇格	4月24日(土)	京都産業大学	●1-2	〃
	4月24日(土)	兵庫県立大学	○2-1	〃
	4月18日(日)	摂南大学	○3-2	京都学園大学
	4月25日(日)	神戸学院大学	○3-0	神戸学院大学
	5月5日(水)	神戸商科大学	○3-0	大阪芸術大学
	5月9日(日)	京都学園大学	○3-0	神戸商科大学
	5月16日(日)	近畿福祉大学	○3-1	摂南大学
バレーボール部(女子) 関西学生バレーボール連盟 春季リーグ戦 VI部3位	5月23日(日)	滋賀県立大学	○3-0	大谷大学本部キャンパス
	5月30日(日)	大阪国際大学	○3-0	〃
	4月18日(日)	大阪芸術大学	●1-3	神戸外国語大学
	4月25日(日)	京都府立大学	●2-3	〃
	5月5日(水)	神戸外国語大学	○3-0	大谷大学本部キャンパス
	5月9日(日)	神戸女子大学	○3-1	大阪芸術大学
	5月16日(日)	花園大学	●2-3	京都精華大学
バドミントン部(男子) 関西学生バドミントン連盟 春季リーグ戦VI部Dブロック2位	5月23日(日)	桃山学院大学	○3-1	〃
	5月8日(土)	関西大学	○5-0	大谷大学本部キャンパス
	5月9日(日)	兵庫県立大学	●1-4	追手門学院大学
	5月16日(日)	追手門学院大学	○3-2	〃
バドミントン部(女子) 関西学生バドミントン連盟 春季リーグ戦Ⅳ部Bブロック2位	5月9日(日)	帝塚山大学	○4-1	大谷大学本部キャンパス
	5月9日(日)	神戸新和女子大学	○4-1	大谷大学本部キャンパス
	5月15日(土)	大阪産業大学	●2-3	〃
	5月23日(日)	奈良教育大学	○3-2	〃
卓球部(男子) 関西学生卓球連盟春季リーグ戦 Ⅳ部Aリーグ 4位	5月23日(日)	滋賀県立大学	○3-2	京都府立大学
	5月23日(日)	京都府立大学	○4-1	〃
	5月3日(月)	大阪府立大学	●0-3	尼崎市記念公園総合体育館
	5月4日(火)	京都工芸繊維大学	○3-0	〃
	5月5日(水)	滋賀県立大学	●0-3	〃
卓球部(女子) 関西学生卓球連盟春季リーグ戦 Ⅲ部Bリーグ 2位	5月5日(水)	大阪学院大学	●0-3	〃
	5月8日(土)	大阪電気通信大学	○3-1	なみはやドーム
	5月3日(月)	京都教育大学	○不戦勝	尼崎市記念公園総合体育館
	5月4日(火)	神戸大学	○3-0	〃
5月5日(水)	京都府立大学	○3-0	〃	
5月8日(土)	関西学院大学	●0-3	なみはやドーム	

【個人成績】

●硬式野球部

<京滋大学野球連盟春季Ⅱ部リーグ戦>
於 太陽が丘球場他(3月27日~5月31日)

最優秀選手賞

古村陽佑
(文学部人文情報学科 第4学年)

最優秀投手賞

阿久根仁
(文学部文学科 第3学年)

首位打者賞

古村陽佑
(文学部人文情報学科 第4学年)

打撃ベストテン 第3位

勝山弘徳
(文学部人文情報学科 第3学年)

打撃ベストテン 第5位

奥野正晴
(文学部史学科 第3学年)

ベストナイン 投手

加藤真也
(文学部社会科学 第2学年)

ベストナイン 捕手

奥野正晴
(文学部史学科 第3学年)

ベストナイン 外野手

古村陽佑
(文学部人文情報学科 第4学年)

ベストナイン 外野手

勝山弘徳
(文学部人文情報学科 第3学年)

大谷中学校・高等学校からのお知らせ

◆【今熊野セミナー】

中学・高校では、生徒の保護者の方々や近隣の方々にお集まりいただきまして、真城義磨学校長の講話をもとに、お話し合いしていただく中から、生徒たちのより良い生長を共に考えていく【今熊野セミナー】を

第2回 2004年 7月1日(木)
午後2時より

テーマ「本願（願いに生きよう）」

第3回 2004年 10月5日(金)
午後2時より

テーマ「聞法(真理に照らされて自己を知る)」

第4回 2004年 12月3日(金)
午後2時より

テーマ「同朋（ともに生きる）」

第5回 2006年 2月1日(火)
午後2時より

テーマ「精進（安心して尽くす）」

場所 すべて大谷中・高等学校
第一会議室

◆【オープンキャンパス&学校説明会】

本校へ入学を希望する小学生・中学生、そして保護者の方々を対象に開催いたします。一般の方々もご参

日時 2004年 8月1日(日)
午前9時30分

～12時00分(高校)

午後1時30分

～4時まで(中学)

内容 説明会〔高校・中学〕

一講堂にて

その後、施設・クラブ見
学、個人相談など。

◆【学校見学会・入試相談会】

11月11日(木)～11月13日(土)

11月11日・12日は、13時30分～17時まで

11月13日(土)は、9時～17時まで

◆【中学・高校入試説明会】

11月6日(土)一講堂にて

高校の部一10時～11時30分まで

中学の部一14時～15時まで

その後個人相談に応じます。

12月12日(日)(高校の部のみ説明)

一講堂にて10時～11時まで

その後個人相談に応じます。

12月19日(日)(中学の部のみ説明)

一講堂にて10時～11時まで

その後個人相談に応じます。

※お問い合わせは

大谷中学・高等学校へ

☎075-541-1312(代)

九州大谷短期大学のお知らせ

九州大谷短期大学演劇放送コース
2年生 中間発表

『信仰 愛 希望』

作：ホルヴァート

演出：梁木靖弘(本コース主任教授)

照明：稲田智治

音響：今村和雄

振付：齊藤 彰

舞台美術：福田美穂

〈あらすじ〉

ファシズムが台頭する1930年代ドイツに彗星のように現れ、自壊してゆく時代と社会を痛烈に、しかも哀切に描いた劇作家エデン・フォン・ホルヴァ

ート(1901-1938)。プレヒトと並ぶ天才の代表作。

九州大谷短期大学演劇放送コース
が初演！

☆学内公演

〈とき〉7/17(土)17:00～

18(日)14:00～

19:00～

19(月)14:00～

〈ところ〉大学内 大谷小劇場

☆学外公演

〈とき〉7/24(土)18:30～

〈ところ〉サザンクス筑後小ホール

※開場は開演の30分前です。

【入場無料】

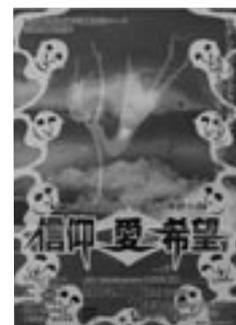
お問い合わせ

九州大谷短期大学 演劇放送コース

TEL:0942-53-9894

〒833-0054

福岡県筑後市蔵数495-1



研究室だより

総合研究室から

7月、8月、9月の総合研究室の開室は以下のとおりです。定期試験、夏期休暇等により開室時間の変更があるので、注意してください

○定期試験による開室時間延長
定期試験の1週間前となる7月15日から7月29日の平日（緑字）は、閉室時間を30分延長し、20時

○夏期休暇期間の開室日について
夏期休暇期間は、平日のみの開室となり、通常の土曜日に準じた開室時間となります。集中講義が始まる9月6日から平常開室となります。

7月						
		1	2	3		
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

8月						
		*				
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

9月							
				1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11	
12	13	14	15	16	17	18	
19	20	21	22	*	23	24	25
26	27	28	29	30			

平日（黒字）は、9時開室 19時30分閉室 7月15日から7月29日の平日（青字）は9時開室 20時閉室
□ は、10時開室 17時30分閉室 ■ は、閉室日

※8月1日（日）、9月23日（木 祝）は、オープンキャンパスのため、10時開室 17時30分閉室。

※図書館の開館日時とは異なって開室することがあります。図書館の開館については、図書館受付カウンター、掲示板等で確認してください。

学会だより

大谷学会

◎10月19日(火)13時～大谷学会研究
発表会（於：メディアホール）

仏教学会

◎7月中旬：1泊研修（2回生対象）
◎10月7日(木)学術懇談会
ーナティア先生をお招きしてー
◎10月中：研究発表例会

宗教学会

◎7月13日(火)「大拙忌」記念公開
講演会

国史学会

◎日本史の会参照

日本史の会

◎7月24日(土)13時30分～
大谷大学日本史の会大会・総会
◎9月25日(土)14時～（予定）
大谷大学日本史の会9月例会

国文学会

◎10月9日(土)15時～
国文学会講演会（於：尋源講堂）
講師：乾 憲雄師
講題：未定

中国文学会

◎7月8日(木)文藝学会講演会
講師：桃山学院大学教授
串田久治氏
講題：古代中国の童話

西洋文学研究会

◎7月17日(土)14時30分～
西洋文学研究会年次大会開催

2005年度入学試験日程

【大谷大学文学部】

試験区分	学 科	募集人員	出 願 期 間	試験日	合格発表日	入学手続締切日		
公募制推薦入試 (A方式=小論文型)	真 宗 学 科	10名	10月21日(木)～ 11月4日(木) (締切日消印有効)	11月20日(土)午前 11月21日(日)午前 (試験日自由選択制)	11月29日(月) 10:00	第1次 12月14日(火) 第2次 1月25日(火) (いずれも締切日消印有効)		
	仏 教 学 科	10名						
	哲 学 学 科	10名						
	社 会 学 科	20名						
	史 学 学 科	10名						
	文 学 学 科	10名						
	国際文化学科	10名						
人文情報学科	10名							
公募制推薦入試 (B方式=1教科型)	真 宗 学 科	10名						
	仏 教 学 科	10名						
	哲 学 学 科	10名						
	社 会 学 科	20名						
	史 学 学 科	10名						
	文 学 学 科	10名						
	国際文化学科	10名						
一般入試 [第1期] (3教科型)	真 宗 学 科	16名	1月7日(金)～ 1月18日(火) (締切日消印有効)	2月4日(金) 2月5日(土) (試験日自由選択制)	2月16日(水) 10:00	第1次 2月25日(金) 第2次 3月18日(金) (いずれも締切日消印有効)		
	仏 教 学 科	14名						
	哲 学 学 科	14名						
	社 会 学 科	35名						
	史 学 学 科	20名						
	文 学 学 科	14名						
	国際文化学科	20名						
人文情報学科	20名							
一般入試 [第1期] (2教科型)	真 宗 学 科	16名						
	仏 教 学 科	14名						
	哲 学 学 科	14名						
	社 会 学 科	25名						
	史 学 学 科	8名						
	文 学 学 科	14名						
	国際文化学科	20名						
人文情報学科	20名							
一般入試 [第2期] (1教科型)	真 宗 学 科	4名	2月10日(木)～ 2月22日(火) (締切日消印有効)	3月7日(月) 午 前	3月10日(木) 10:00	3月18日(金) (締切日消印有効)		
	仏 教 学 科	4名						
	哲 学 学 科	4名						
	社 会 学 科	8名						
	史 学 学 科	4名						
	文 学 学 科	4名						
	国際文化学科	5名						
人文情報学科	5名							
一 般 入 試 [大学入試センター 試験利用入試]	真 宗 学 科	4名		1月7日(金)～ 1月14日(金) (締切日消印有効)	1月15日(土) 1月16日(日) 大学入試センター試験実施日 (本学での個別学力試験等は課さない。)		2月16日(水) 10:00	第1次 2月25日(金) 第2次 3月18日(金) (いずれも締切日消印有効)
	仏 教 学 科	4名						
	哲 学 学 科	4名						
	社 会 学 科	8名						
	史 学 学 科	4名						
	文 学 学 科	4名						
	国際文化学科	5名						
人文情報学科	5名							
第3学年推薦編入学 [前期日程]	各 学 科	76名 以内 [注3]	9月10日(金)～ 9月24日(金) (締切日消印有効)		10月9日(土) 面 接	10月16日(土)	第1次 10月29日(金) 第2次 1月25日(火) (いずれも締切日消印有効)	
			11月16日(火)～ 11月30日(火) (締切日消印有効)		12月11日(土) 面 接			
第3学年推薦編入学 [後期日程]								
第3学年一般編入	各 専 門 分 野	若干名 [注4]	2月2日(水)～ 2月14日(月) (締切日消印有効)		2月28日(月)	3月4日(金) 10:00	3月18日(金) (締切日消印有効)	

- [注1] 大谷大学短期大学部文化学科、九州大谷短期大学卒業見込者に限る。
 [注2] 大谷大学短期大学部仏教科・幼児教育科、九州大谷短期大学、その他指定短大卒業見込者に限る。
 [注3] 社会学科は社会福祉学分野・臨床心理学分野を除く。人文情報学科は大谷大学短期大学部、九州大谷短期大学のみ。
 [注4] 社会学科は社会福祉学分野・臨床心理学分野を除く。人文情報学科は募集しない。

【大谷大学短期大学部】

試験区分	学 科	募集人員	出 願 期 間	試験日	合格発表日	入学手続締切日			
公募制推薦入試 (A方式=小論文型)	仏 教 科	15名	10月21日(木)～ 11月4日(木) (締切日消印有効)	11月20日(土)午前 11月21日(日)午前 (試験日自由選択制)	11月29日(月) 10:00	第1次 12月14日(火) 第2次 1月25日(火) (いずれも締切日消印有効)			
	文 化 学 科	25名							
	幼 児 教 育 科	10名							
公募制推薦入試 (B方式=1教科型)	仏 教 科	10名		11月19日(金) 午 後					
	文 化 学 科	25名							
	幼 児 教 育 科	10名							
一般入試 [第1期]	仏 教 科	10名	1月7日(金)～ 1月18日(火) (締切日消印有効)	2月4日(金) 2月5日(土) (試験日自由選択制)	2月16日(水) 10:00	第1次 2月25日(金) 第2次 3月18日(金) (いずれも締切日消印有効)			
	文 化 学 科	30名							
	幼 児 教 育 科	30名							
一般入試 [第2期]	仏 教 科	5名		2月10日(木)～2月22日(火) (締切日消印有効)			3月7日(月) 午 後	3月10日(木) 10:00	3月18日(金) (締切日消印有効)
	文 化 学 科	10名							

【大谷大学大学院】

試験区分	課 程	募集人員	出 願 期 間	試験日	合格発表日	入学手続締切日
秋季試験	修 士 課 程	各専攻定員の50%程度	9月10日(金)～ 9月24日(金) (締切日消印有効)	10月8日(金)筆記 10月9日(土)面接	10月16日(土) 10:00	第1次 10月29日(金) 第2次 1月25日(火) (いずれも締切日消印有効)
外国人留学生入試	博士後期課程 修 士 課 程	若干名 若干名	10月1日(金)～ 11月1日(月)	12月11日(土)	12月17日(金) 10:00	1月25日(火)
社会人入試	修 士 課 程	若干名	9月10日(金)～ 9月24日(金) (締切日消印有効)	10月8日(金)	10月16日(土) 10:00	第1次 10月29日(金) 第2次 1月25日(火) (いずれも締切日消印有効)
春季試験	博士後期課程 修 士 課 程	18名 各専攻定員の50%程度	2月2日(水)～ 2月14日(月) (締切日消印有効)	2月27日(日)筆記 2月28日(月)面接	3月4日(金) 10:00	3月18日(金) (締切日消印有効)

学生相談室から



偉大な助言に出合う

あらゆる悩みが、それを解決しようとして生じ、さまざまな神経症が、それを治そうとして発生する。これはなかなか納得してもらえない。実感としては、悩みがあるから解決しようとしているのだと思いい、神経症になったから治そうと努力しているのだと考えてしまう。こころや自分のイメージ、また意味でとらえた人生などは、社会生活上の普通の論理とはまったく異なった論理の世界なので、よく分かったつもりでいても、すべて思いどおりに解決できず、こころ一つをもてあまして神経症にもだえ苦しむのである。

精神医学や心理学に大きな期待がかけられる場面でさえも、それが抽象的論理的な学問であるためにせっかくな証明にもとづく科学的な理論も、自己意識の世界には、うまくかみ合わないで、あせりとともに悩みをふかくする。そういう時に学生さんとともに親鸞聖人の話しかけられるようなことばを読むと、思いもよらぬすばらしい助言とし

学生相談室の開室について

場 所	曜 日	相談室	学生相談員	相談日時
学生相談室 (博綜館1階)	月曜日	1 2	谷口奈青理	10時30分～16時00分
	火曜日	1 2	菊岡 千夏	10時30分～16時00分
	水曜日	1	宇佐 晋一 (神経科校医)	第2週・第4週 13時00分～16時00分
		2	佐賀枝夏文	10時30分～14時00分
	木曜日	1 2	讓 西賢 菊岡 千夏	10時30分～16時00分
	金曜日	1 2	菊岡 千夏	10時30分～16時00分

て心に響くのである。「ききわけ、しりわくるなんどわずらわしくはおせ候うやらん。これみなひがことにて候うなり」(末灯鈔)

聞いて分かって心の問題が解けると思いうのは間違いで、早速の生活が必要なのである。

宇佐 晋一

【学生数】

(2004年6月1日現在)

学部	学 科	第1学年			第2学年			第3学年			第4学年			合 計		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
文学部	真宗学科	86	6	92	99	14	113	91	13	104	123	25	148	399	58	457
	仏教学科	68	19	87	87	25	112	88	11	99	103	27	130	346	82	428
	哲学科	61	35	96	61	35	96	51	42	93	72	51	123	245	163	408
	社会学科	80	84	164	86	113	199	81	116	197	87	119	206	334	432	766
	史学科	46	37	83	70	34	104	53	56	109	88	62	150	257	189	446
	文学科	33	49	82	28	64	92	46	61	104	52	87	139	159	261	420
	国際文化学科	39	78	117	42	75	117	49	87	136	47	98	145	177	338	515
	人文情報学科	84	32	116	77	55	132	61	43	104	65	54	119	287	184	471
文学部合計	497	340	837	550	415	965	520	429	949	637	523	1160	2204	1707	3911	
大学院	修士課程	39	6	45	58	15	73							97	21	118
	博士後期課程	14	5	19	14	5	19	11	13	24				39	23	62
	大学院合計	53	11	64	72	20	92	11	13	24				136	44	180
短期大学部	仏教科	30	21	51	37	16	53							67	37	104
	文化学科	20	98	118	23	137	160							43	235	278
	幼児教育科	8	70	78	3	75	78							11	145	156
	短期大学部合計	58	189	247	63	228	291							121	417	538
総 合 計	608	540	1148	685	663	1348	531	442	973	637	523	1160	2461	2168	4629	

2004年度 後期 生涯学習講座

開放セミナー

○「親鸞思想入門―「正信偈」を読む―

講師 師 木越 康（大谷大学助教授）
 開講日 10月20日、27日、11月10日、17日、12月1日、8日 [全6回 毎水曜]
 時間 17：50～19：20
 定員 100名
 会場 メディアホール
 受講料 6,000円
 締切日 10月13日(水)



○「ビートルズサウンドの魅力にせまる―イギリスにおける異文化発見―

講師 師 米本 義孝（大谷大学教授）
 開講日 10月21日、28日、11月4日、18日、25日、12月2日 [全6回 毎木曜]
 時間 17：50～19：20
 定員 30名
 会場 マルチメディア演習室
 受講料 9,000円
 締切日 10月14日(木)

紫明講座

○大谷大学・龍谷大学連携講座「蓮如と山科本願寺―最新の研究成果に学ぶ―

講師 師 草野 顕之（大谷大学教授）他
 開講日 10月2日、16日、30日、11月13日、20日、12月4日 [全6回 毎土曜]
 *後半3回は龍谷大学が会場
 時間 10：45～12：15
 定員 60名
 会場 メディアホール
 受講料 9,000円



○「しがねえ恋のなさがあだ」―浄瑠璃名文集 そのⅡ―

講師 師 沙加戸 弘（大谷大学教授）
 開講日 10月27日、11月10日、17日、12月1日 [全4回 毎水曜]
 時間 17：50～19：20
 定員 30名
 会場 マルチメディア演習室
 受講料 6,000円
 締切日 10月20日(水)

○「唯識思想へのいざない―撰大乘論に基づいて―

講師 師 小谷 信千代（大谷大学教授）
 開講日 12月2日、9日、16日 [全3回 毎木曜]
 時間 17：50～19：20
 定員 100名
 会場 メディアホール
 受講料 3,000円
 締切日 11月25日(木)

○「伝説と民謡で旅するドイツー山の精霊からバッハまでー」

講 師 吉田 孝夫（大谷大学講師）
 開 講 日 12月3日、10日、17日〔全3回 毎回金曜〕
 時 間 17：50～19：20
 定 員 100名
 会 場 メディアホール
 受 講 料 3,000円
 締 切 日 11月26日（金）

湖西キャンパスセミナー

○「親子で水とたわむれる」

講 師 中森 一郎（大谷大学助教授）
 開 講 日 8月7日（土）
 時 間 14：00～16：00
 定 員 20家族
 受 講 料 1,000円
 締 切 日 7月30日（金）



○「人生の物語をふりかえる」

講 師 佐賀枝 夏文（大谷大学教授）
 開 講 日 9月22日（水）（予定）
 時 間 18：00～20：30
 定 員 30名
 受 講 料 2,000円
 締 切 日 9月15日（水）

○「渡来人と近江一歩いて学ぶ日朝交流の歴史ー」

講 師 鄭 早苗（大谷大学教授）
 朴 鐘鳴（関西学院大学講師）
 開 講 日 10月24日（日）
 時 間 10：30～17：00
 定 員 30名
 受 講 料 6,000円程度（バス代、保険料含む）
 ※滋賀県湖西地域のフィールドワークを実施します。



大谷大学博物館セミナー

「はじめて学ぶ古文書の読み方」

開 講 日 9月25日、10月2日、16日、30日、11月6日、27日、12月11日
 ＊10月16日、11月6日は2講時のみ
 時 間 1講時 10：00～11：00 2講時 11：10～12：10
 講 師 平野 寿則（大谷大学講師）
 定 員 30名
 受 講 料 12,000円
 締 切 日 9月17日（金）

受講をご希望の方は、下記までお問い合わせ下さい。

FAX、Eメールにてお申込の際には、講座名、住所、氏名（フリガナ）、電話番号、性別、年齢、職業を明記して下さい。

◆お問合わせ先◆ 教育研究支援課KO係

TEL：075-411-8161（直通）／FAX：075-411-8162／E-mail：opensemi@sec.otani.ac.jp

※講座名は変更になる場合があります。

※各講座の詳細については、7月下旬に教育研究支援課で配布するパンフレット、チラシでご確認下さい。

財務の概況

大谷大学 大谷大学短期大学部

—大谷大学・大谷大学短期大学部 2003年度決算—

2003年度決算は、公認会計士および監事の監査を受けた上で、5月24日に開催された学校法人真宗大谷学園理事会・評議員会において承認されました。

本学の会計は、公認会計士による監査・指導を定期的に受けて処理されています。また、計算書類は、「学校法人会計基準」に従って、「資金収支計算書」「消費収支計算書」「貸借対照表」を作成しており、毎年決算承認後文部科学大臣に届け出ています。

2003年度資金収支計算書

(2003年4月1日～2004年3月31日)

(単位 円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
学生生徒等納付金収入	4,953,562,000	人件費支出	2,747,742,809
手数料収入	214,428,920	教育研究経費支出	1,274,779,181
寄付金収入	182,221,000	管理経費支出	479,339,630
補助金収入	412,940,486	借入金等利息支出	44,268,750
資産運用収入	27,902,122	分担金支出	10,000,000
事業収入	15,541,770	借入金等返済支出	141,200,000
雑収入	115,251,911	施設関係支出	106,430,421
前受金収入	820,548,000	設備関係支出	168,924,427
その他の収入	1,891,956,911	資産運用支出	2,599,956,970
		その他の支出	83,120,305
資金収入調整勘定	△1,054,917,626	資金支出調整勘定	△37,252,889
前年度繰越支払資金	6,955,361,826	次年度繰越支払資金	6,916,287,716
収入の部合計	14,534,797,320	支出の部合計	14,534,797,320

2003年度消費収支計算書

(2003年4月1日～2004年3月31日)

(単位 円)

消費収入の部		消費支出の部	
科目	金額	科目	金額
学生生徒等納付金	4,953,562,000	人件費	2,726,102,288
手数料	214,428,920	教育研究経費	2,108,593,840
寄付金	200,523,982	(うち減価償却額)	(828,562,377)
補助金	412,940,486	管理経費	503,458,849
資産運用収入	27,902,122	(うち減価償却額)	(24,119,219)
事業収入	15,541,770	借入金等利息	44,268,750
雑収入	118,821,564	分担金	10,000,000
		資産処分差額	3,629,170
		徴収不能引当金繰入額	648,000
		消費支出の部合計	5,396,700,897
帰属収入合計	5,943,720,844	当年度消費支出超過額	2,224,644,237
基本金組入額合計	△2,771,664,184	前年度繰越消費収入超過額	7,423,770,004
消費収入の部合計	3,172,056,660	翌年度繰越消費収入超過額	5,199,125,767

資金収支計算書

資金収支計算書は、その年度の教育研究活動などの諸活動に対応するすべての収入と支出の内容および支払資金の収入および支出の顛末を明らかにするものです。したがって、資金収入には、負債となる借入金や次年度の授業料等の前受金なども含まれます。資金支出には、借入金返済支出、施設関係支出、設備関係支出、貸付金支払支出などが含まれます。

資金収支の概況

2003年度の収入は、75億7900万円、支出は76億1800万円となり、翌年度繰越額は前年度額より3900万円減の69億1600万円となりました。

収入の内訳では、学生生徒等納付金収入が前年度比0.2%減の49億5300万円となり、収入額の57.4%を占めています。手数料収入は2億1400万円であり、前年度比10.8%減となっています。これは、受験者数は前年と変わらなかったものの、入学検定料の割引制度を導入したため、入学検定料の収入減となったものです。寄付金収入では、前年度比60%減の1億8200万円となりました。これは、2002年度で近代化100周年記念事業としての響流館建設募金が終了したために減額となったものです。

支出の内訳では、人件費が27億4700万円となり、ほぼ前年並みとなっています。学生の皆さんの学生生活および教育研究にかかわる教育研究経費は、前年度比19.1%増の12億7400万円で、支出全体の16.6%を占めています。この大きな伸びは、携帯電話による休講情報の提供、インターネットを通しての就職支援や、学外からもメールを確認できるウェブメールの整備、学籍を管理するシステムの更新等によるものです。管理経費では、前年度比11.5%増の4億7900万円を執行しました。施設関係支出は1億600万円であり、その主なものは、2号館と至誠館のエレベーターや博綜館入口の自動ドア、博綜館から尋源館への渡り通路のスロープの新設など、バリアフリー対策を施し、学生の皆さんが快適に学生生活を送れるよう整備を進めました。また設備関係支出は、1億6800万円であり、そのほとんどを教育研究用の機器・備品および図書の購入に当てています。特に図書に関しては、図書館の図書費として9100万円を支出し、学習研究に役立たんことを期待しています。資産運用支出では、25億9900万円を支出しています。この内には、将来校舎等の整備のために積立てたものも含まれます。2003年度はこの積立てへ組入れた額が高額となったために、支出額が収入額を上回ることになりました。

消費収支計算書

消費収支計算書は、負債とならない収入（帰属収入）と、施設・設備関係の減価償却額や資産の除却額などを含むその年度に消費する支出（消費支出）との内容及び均衡の状態を明らかにするものです。すなわち、その年度の負債以外の収入と、人件費や諸経費などのいわゆるコストをあげ、バランスが取れているかを見るものです。

教育研究活動を提供する学校法人は、継続的な維持責任がより一層求められています。そのためには、資金収支の整合性が取れているだけでなく、帰属収入から必要な資産を継続的に保持するために組入れる基本金への組入額を引いた額（消費収入）と、消費支出とのバランスを見ることによって、当該年度だけでなく、将来的な財政の健全性を見ることが重要になってきます。この点、消費収支計算書は、長期的な観点をもっているものといえます。

貸借対照表

学校法人の目的である教育研究活動を達成するためには、膨大な施設や設備など各種の運用財産を必要とします。貸借対照表は、これらの財産の保有状況を表し、教育研究に必要な財産が適正に維持管理されているかどうかを示すものです。この貸借対照表はその意味で重要であり、消費収支計算書とともに長期的な観点を持つものといえます。

ここでの資産は、大学が保有する土地、建物、現金預金などを示し、負債とは、借入金や退職給与引当金など、いずれ支出となって出て行くものを示します。基本金は、大学が必要な資産を永続的に維持するために、帰属収入のうちから組入れたものです。この基本金と消費収支差額の合計が正味財産となります。

貸借対照表の概況

資産の総額は、388億3800万円で、前年度に比べて2億2000万円の増加となりました。内訳は、有形固定資産が231億9400万円、その他の固定資産が86億2900万円、流動資産が70億1400万円となっています。

負債の合計は、39億2800万円で、前年度に比べて3億2600万円の減少となりました。内訳は、固定負

消費収支の概況

資金収支計算書と重複する項目を除いて説明します。寄付金では、現物寄付を金額換算して1800万円となっています。主に、教育後援会から机・椅子等ご寄付をいただいたものです。

帰属収入の合計は、前年比8.8%減の59億4300万円となりました。

基本金へは、施設建設、教育研究用機器備品、図書等の購入による3億7100万円と将来校舎等を整備するための積立てとして24億円を組入れました。帰属収入から基本金組入額を差し引いた消費収入合計は、31億7200万円となっています。

支出の教育研究経費、管理経費には、建物や、機器・備品等の減価償却額が含まれています。教育研究経費の減価償却額は8億2800万円、管理経費の減価償却額は2400万円となっています。

消費支出合計は、53億9600万円となり、基本金組入額が高額であったため、消費収入を上回る額となっています。

貸借対照表

(2004年3月31日)

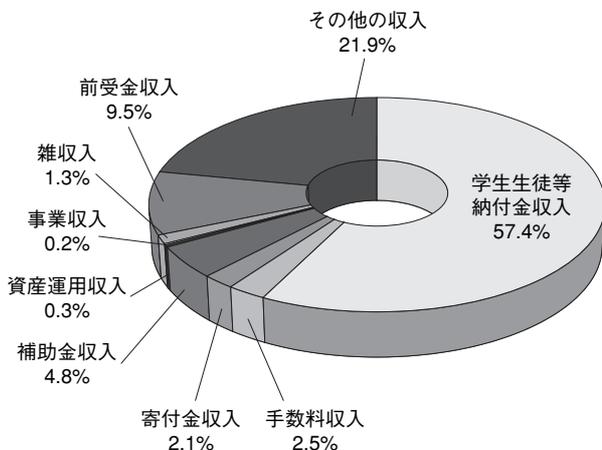
(単位 円)

資産の部		負債及び基本金の部	
科目	2003年度末	科目	2003年度末
土地	7,895,139,063	長期借入金	1,768,867,332
建物	10,476,532,788	退職給与引当金	1,104,402,548
構築物	444,668,611	固定負債計	2,873,269,880
教育研究用機器備品	1,467,291,816	短期借入金	134,508,668
その他の機器備品	32,684,285	未払金	37,252,889
図書	2,874,411,308	前受金	820,548,000
車輛	3,529,338	預り金	62,915,896
電話加入権	4,741,272	流動負債計	1,055,225,453
施設利用権	495,806	負債の部合計	3,928,495,333
敷金	693,000		
長期貸付金	131,046,000	第1号基本金	26,436,827,221
引当特定資産	8,492,798,068	第2号基本金	2,400,000,000
固定資産計	31,824,031,355	第3号基本金	500,700,000
現金預金	6,916,287,716	第4号基本金	373,116,090
未収入金	97,880,126	基本金の部合計	29,710,643,311
仮払金	65,214		
流動資産計	7,014,233,056	翌年度繰越消費収入超過額	5,199,125,767
合計	38,838,264,411	合計	38,838,264,411

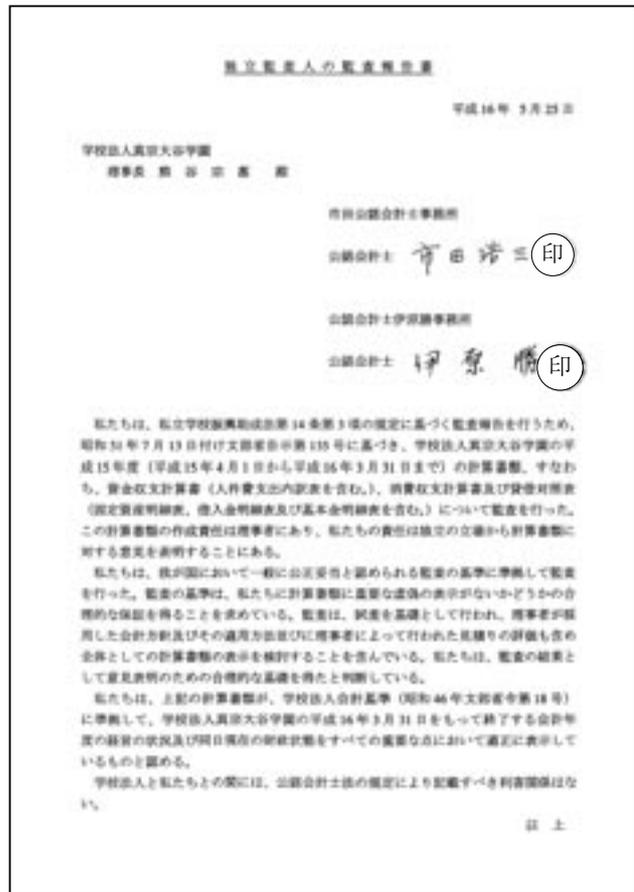
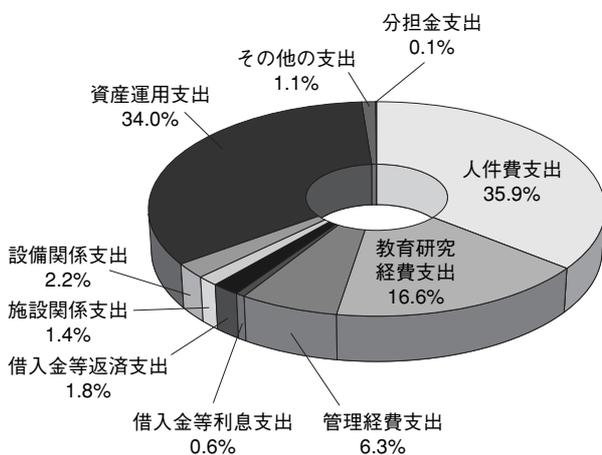
債が28億7300万円、流動負債10億5500万円となっています。

基本金は、297億1000万円で、前年度に比べて27億7100万の増加となっています。これは、施設、機器備品、図書等の取得によるものと、将来校舎等を整備するための引当を基本金に組入れたものです。その結果、翌年度繰越消費収入超過額は、51億9900万円となりました。

2003年度資金収支（収入の部）



2003年度資金収支（支出の部）



一大谷大学・大谷大学短期大学部 2004年度予算一

2004年度予算は、3月17日に開催された学校法人真宗大谷学園理事会・評議員会において承認されました。

本学では昨年10月に博物館を開館しました。大学が所蔵する貴重な資料を展覧し公開する施設として、学生の皆さんへの教育研究活動に大いに寄与するとともに、広く社会へ知的財産を公開する場として機能しています。今後、年4回の企画展と秋には特別展を開催いたします。この博物館に所蔵する資料を文化財として永く伝えていくためにも、損傷の認められる資料の修復を図るとともに保存のための環境の整備を計画的に進めていく予定です。

情報環境の整備では、マルチメディア教室の機器の更新などを進め、最新の機器による教育研究活動を目指します。また学内のネットワークであるOUNET上でも開放された情報コンセントを用意しており、学生の皆さんが携帯した自分のPCをいつでも利用できる環境が整っています。

また、これらの環境を維持するためには、蔓延するコンピュータ・ウイルスなどへの十全な対策が求められるようになってきています。OUNETにおいてもセキュリティ管理の重要性がますます高まっています。

これらの環境整備に加えて、インターネットを利用した公開講座の配信（e-Learning）への取り組みなど、将来の情報環境にも積極的に取り組むよう計画しています。

本学は、「人間として生きるとはどういうことか」という問いをより大切に、仏教精神に則って、自己を問うことを、学びの基本理念とした教育を行うとともに、仏教ならびに人文系の教育研究に基づき、広く世界文化に貢献することを目的としてきました。2004年度もこの理念に基づき、充実した学生生活が過ごせるようキャンパス環境の整備を進め、教育研究活動の一層の拡充を進めてまいります。

（事務局長 藤坂初裕）

2004年度資金収支予算書
(2004年4月1日～2005年3月31日)

(単位 円)

学生生徒等納付金収入…授業料や、実習の際に納めてもらう実習料です。

資産運用収入…預金の利息や大学の施設利用料などです。

事業収入…寮への入寮費や公開講座の受講料、就職講習の講習料などです。

前受金収入…次年度入学者の入学金や授業料などです。

その他の収入…貸与奨学金の返還金などです。

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
学生生徒等納付金収入	4,906,010,000	人件費支出	2,825,212,000
手数料収入	199,580,000	教育研究経費支出	1,650,685,000
寄付金収入	190,000,000	管理経費支出	500,148,000
補助金収入	334,500,000	借入金等利息支出	40,355,000
資産運用収入	27,720,000	分担金支出	10,000,000
事業収入	18,198,000	借入金等返済支出	131,100,000
雑収入	64,024,000	施設関係支出	15,800,000
前受金収入	807,695,000	設備関係支出	148,132,000
その他の収入	106,320,000	資産運用支出	500,000,000
		その他の支出	67,480,000
		予備費	20,000,000
資金収入調整勘定	△873,151,000	資金支出調整勘定	△40,000,000
前年度繰越支払資金	6,916,287,716	次年度繰越支払資金	6,828,271,716
収入の部合計	12,697,183,716	支出の部合計	12,697,183,716

施設関係支出…土地や建物等の取得にかかる支出です。

設備関係支出…大学の資産となる備品の取得にかかる支出です。教室の机、パソコン、図書などがこれにあたります。

資産運用支出…将来的な施設充実のために積立てるための支出です。

その他の支出…貸与奨学金の貸付金や前年度経費のうち年度を越えてから支払わなければならない支出のことです。

2004年度消費収支予算書
(2004年4月1日～2005年3月31日)

(単位 円)

手数料…入学検定料や証明書発行手数料などです。

寄付金…有志の方々や教育後援会から寄付していただいているものが主です。

補助金…国や京都市などからの補助金です。

消費収入の部		消費支出の部	
科目	金額	科目	金額
学生生徒等納付金	4,906,010,000	人件費	2,771,691,000
手数料	199,580,000	教育研究経費	2,481,073,000
寄付金	204,500,000	(うち減価償却額)	(830,388,000)
補助金	334,500,000	管理経費	523,991,000
資産運用収入	27,720,000	(うち減価償却額)	(23,843,000)
事業収入	18,198,000	借入金等利息	40,355,000
雑収入	64,024,000	分担金	10,000,000
		資産処分差額	1,600,000
		予備費	20,000,000
		消費支出の部合計	5,848,710,000
帰属収入合計	5,754,532,000	当年度消費支出超過額	679,210,000
基本金組入額合計	△585,032,000	前年度繰越消費収入超過額	5,199,125,767
消費収入の部合計	5,169,500,000	翌年度繰越消費収入超過額	4,519,915,767

人件費…専任の教職員、非常勤講師、嘱託職員、アルバイト職員などの給与等です。

教育研究経費…教育や研究活動にかかる消耗品や通信費などの経費のことです。

管理経費…人事、総務、経理、職員の福利厚生や学生募集にかかる経費のことです。

「大谷大学広報04-秋」発行のお知らせ

「大谷大学広報04-秋」の発行を11月に予定しています。さまざまなエッセイや連絡事項などを掲載する予定です。ぜひお読みください。広報は次の場所に置いてありますので、ご自由にお取りください。

- ①博綜館ピロティアー (博綜館入口横) ②学内食堂 ③各研究室 ④至誠館 (学生課カウンター前) ⑤1号館1階 ⑥2号館1階

2月なのに、ポカポカ陽気のある日、Aちゃんがお母さんと一緒に私のところにやってきた。「あんな、今度、僕お家に帰るんやで、ええやろ。」「そうか、みんながんばったもん。本当に、よかったねー」

Aちゃんが、私の勤めていた児童養護施設にやってきたのは、2年前、4歳のときでした。施設にやってきた初日から、元気で活発な「腕白ぼうず」でした。その翌日、両親が子どもの衣類やおもちゃを持って施設に来院されました。偶然にも、お風呂に行こうとして1階に降りてきたAちゃんと玄関でばった

り出会ったのでした。両親の顔を見たたん、Aちゃんは直立不動、表情もなくなっていたのでした。そんな子どもの様子を見たお母さんは、施設の玄関で泣き崩れてしまったのです。父親からの身体的虐待と母親からの精神的虐待によって、Aちゃんは、いわゆる「固まる」子どもだったのです。

「え、私は施設に来てもいいのですか?」「私なんか親失格なのに、本当に良いのですか」お母さんは何度も繰り返しました。「当たり前じゃない。Aちゃんのお母さんは、この世にあなたしかいないんだよ」こうして、Aちゃんのお母さんとの週1回の

面接が開始されました。3歳ぐらいまではとても順調だったこと、一緒に買い物に行ったりおやつ作りをしたり、楽しかった思い出がいっぱい。下の子どもができた頃から、様子がおかしくなってきたこと、近所の人たちが自分を非難しているのではないか、そう思うとAが泣くことも私には我慢ができなかった、父親に相談してみたのだけど、「お前に任せるから」としか言ってくれない、夫婦の関係が悪くなっていつも喧嘩ばかり、そのうち父親がAに怒るようになったが、暴力がひどくて恐くなって児童相談所に相談したこと等いろいろなことを話してく

話題の広場 SQUARE

Aちゃん親子に幸多かれ！！

徳岡博巳



絵 内山智廣

れました。

3回目の面接を行った日の夜、私はあることに気がついたのです。いつもは元気に幼児さんのお部屋で暴れているAちゃんが事務所の私の側で遊んでいるのです。そういえば先週の面接の日も…。「Aちゃん、お母さんがきみにゴメンねって。Aちゃんが大好きだから、早く一緒に暮らしたいって」私が言うと、Aちゃんはニッコリしてお部屋に帰っていきました。

Aちゃんとお母さんの関係修復がスタートしました。電話で話すことから初めて、施設行事への参加、お部屋での出会い、お母さんに施設ボランティアとして保育士の手伝いをしてもらう等を経て、初めての二人だけの外出、そして外泊、夏休みや年末年始の長期外泊等を行ないながら、一方で両親には「怒る」

と「叱る」の違い、「父性と母性の関わり」「褒めることの意味」「発達段階に応じた適切な関わり」等を学習してもらい、Aちゃんには保育士との関わりの中で、「嬉しいとき」「悲しいとき」「不満なとき」「腹が立ったとき」のコミュニケーションのスキルを身につけてもらったのです。それは試行錯誤の連続でした。外泊時に電話がかかってきて「やっぱり無理や」と途中で帰ってきたり、ミーティングの途中で「私が悪いというのか」と言って席を立ってしまう等…。両親にとっては大変な日々でした。救いはAちゃんが確実に回復していったことでした。表情が豊かになり、笑顔がとっても可愛らしいAちゃんがみんなの救いだったのです。「Aのために『しつけ』だと思っていたことだけど、本当は私のために無理矢理

させていたんですね」「Aが上目遣いで人の顔を伺うような表情がいやでたまらなかった、でもそれは私がAにさせていたんですね」「Aの寝顔を見てみると愛しくなって抱きしめてしまいました」

もう大丈夫、Aちゃんが小学生になるのを期に、お家に帰ることになったのです。

Aちゃんの横で微笑んでいたお母さんが「お世話になりました。もし、心配なことがあったら電話してもよいですか」「もちろん、何もなくても連絡してね」「有難うございます」

私はAちゃんとお母さんに心の中でつぶやいた。
「Aちゃん親子に幸多かれ」

(とくおか ひろみ)
助教授 児童福祉 社会福祉援助技術)